

# 平成20年 消防年報



# はじめに



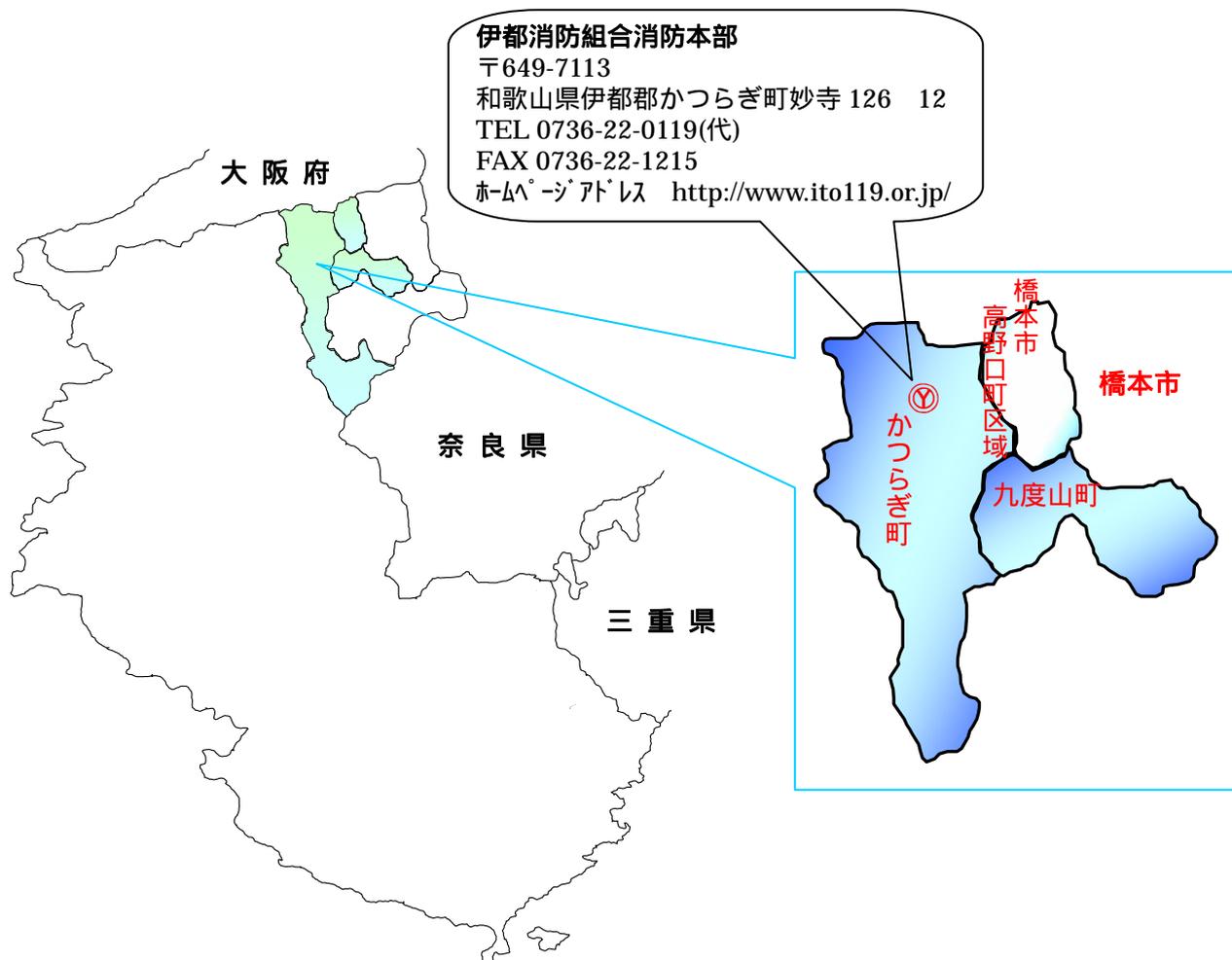
消防長 山高 國央

この年報は、平成20年中の伊都消防組合の消防現勢及び消防業務の内容、火災、救急統計等を主に収録したものです。

本書の記載内容をご覧頂き、我々のまちの消防組織や活動を知って頂くことによって、よりよき消防行政の推進に役立つことが出来れば幸甚に存じます。

内容について、お気付きの点あるいはご不審な点がございましたら、消防本部までお問い合わせ下さい。

平成21年4月



# 目 次

## 消防情勢

伊都消防組合設置及び業務経過（業務開始前・開始後の経過）	1～9
年間業務概況	10～14
歴代消防組合管理者・議長・消防長	15
管内状況	16
伊都消防組合組織図	17
事務分掌（消防本部）	18
事務分掌（消防署）	19
予算の概要（平成19年度当初）	20
消防予算の推移（5年間）	21
消防庁舎の現状（構造・規模）	22
消防相互応援協定の状況	23
職員の階級別職員数と配置状況	24
職員の階級別年齢状況	25
職員の階級別勤続年数状況	26
職員の階級別各種免許資格取得状況	27
職員の教養状況（5年間）	28
市町別各種訓練指導等・管内消防水利の状況	29～37

## 消防施設

消防緊急通信指令施設系統図	38
通信施設の現況	39
消防車両等の保有現況	40
消防用機械器具保有状況	41
機関運用状況	42

## 火災の予防

市町別防火対象物台帳数・中高層建築物数 及び防火管理者選任・消防計画届出数	43
市町別月別建築同意件数 市町別消防法及び火災予防条例に基づく届出状況	44
市町別危険物施設の状況 倍数別危険物施設一覧表	45
市町別危険物施設許可件数及び完成検査件数	46
市町別危険物施設設置許可件数 市町別危険物施設廃止件数	47
市町別危険物等各種申請及び届出件数 防火広報等	48

## 火災統計

火災概況	49
市町別火災発生状況 火災覚知別表	50
月別・原因別火災発生状況	51
月別・区分別火災発生状況 出火時刻別火災発生状況	52
火災発生時の気象状況	53
火災発生概況及び損害額（10年間） 月別火災発生件数（10年間）	54

## 救助統計

救助活動状況	事故種別救助出動の推移	55
市町別出動件数	月別出動件数	
	曜日別出動件数	
	時間帯別出動状況	56

## 救急統計

救急概況	支援・救命・救命支援出動状況	57
市町別救急出場件数（主な事故種別）	市町別救急出場件数及び搬送人員	
	不搬送の内容	
	覚知別出場状況	58
程度別搬送人員	程度別転送回数状況	
	転送理由状況	59
性別・年齢別搬送人員	現場到着所要時間	
	収容所要時間	60
月別出場件数	曜日別出場件数	
	時間帯別出場件数	61
休日における救急活動状況	診療科目別搬送人員	
	医療機関別搬送状況	62
救急隊員の行った応急処置等件数調		63
出場走行距離	②① 事故種別救急出場の推移（10年間）	64
②② 救急用器具保有状況		65

## 消防団の概要

消防団の状況	消防団の沿革	66
市町別消防団の組織及び機構		67～68
消防団員の年齢別・階級別状況（三市町合計・各市町）		69～72
消防団員数及び装備状況（各市町）		73

# 消 防 情 勢

## 平成 2 0 年中の重点項目

- ・ 地域医療機関との連携強化
- ・ 各種災害現場活動における活動技術の更なる向上
- ・ 各学校及び団体への救急講習会等の実施
- ・ 伊都、橋本消防の広域再編

## 平成 2 0 年中の職員が選んだ伊都消防組合10大ニュース

- ・ 伊都消防組合消防職員新規採用試験実施 4名採用内定
- ・ 第22回和歌山県ポンプ操法大会で優勝 橋本市消防団高野口方面隊〔ポンプ車操法の部〕
- ・ 新高規格救急車を導入
- ・ 木村正消防司令補 全国優良消防職員表彰を受賞
- ・ 塩山雅俊消防士長 和歌山県消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞
- ・ 松下正消防士長 全国消防長会東近畿支部意見発表会で入賞
- ・ 薬剤投与認定救急救命士1名追加で計4名
- ・ 救急救命士養成 1名派遣〔九州研修所〕
- ・ 県下消防士長昇任試験5名合格
- ・ 職員2名早期退職

# 伊都消防組合設置及び業務経過

## 業務開始前の経過

年 月 日	内 容
昭和 51. 53. 54.	患者輸送業務を含む常備消防署設置の気運高まる 伊都郡町村会において、常備消防設置について議題とする 関係 3 町会議を開催して、昭和55年10月 1 日を目途として事業計画を樹立 することを決め、郡町村会事務局に事業計画案を委託 関係町長、助役及び主管課長会議を開催して、常備消防事業促進検討会を構成する 第 1 回常備消防事業促進検討会（以下促進検討会という）を高野口町役場 において開催し、基本的事項について合意 第 2 回促進検討会をかつらぎ町役場において開催し、組合規約案等協議する 第 3 回促進検討会を九度山町役場において開催し、本部・署の位置について協議する 第 4 回促進検討会を高野口町役場において開催し、位置問題及び規約案 について審議検討する
2. 7	
16	
3. 1	
5. 17	
6. 2	
9	
7. 26	伊都消防組合設置許可なる
8. 13	昭和54年第 1 回伊都消防組合議会（以下組合議会という）臨時会を開催し、議長中西治氏、副議長窪田真士氏、管理者木村重雄氏、助役杉本博夫氏、収入役原延年氏、監査委員曾和之男氏、草田源兵衛氏を選任する
10. 22	昭和54年第 2 回組合議会定例会を開催し、昭和54年度組合会計予算（6,000 千円）並びに組合経費の分担割合等可決する。管理者にかつらぎ町長木村重雄氏を再選
11. 8	庁舎用地購入について、かつらぎ町土地開発公社と委託契約締結
10	消防長に田村恵一を任命、消防組合業務開始に備えてかつらぎ町役場消防団詰所に事務所を置く。庁舎用地第 1 年次分売買契約締結
13	庁舎改築設計を山添設計事務所に委託
55. 1. 21	当消防組合吏員採用試験実施81名受験
2. 9	3 町よりの内申により、当消防組合消防吏員採用内定通知発送 （かつらぎ町11名、高野口町 8 名、九度山町 5 名 計24名）
15	昭和55年第 1 回組合議会定例会開催し、昭和54年度補正予算第 1 号（補正額 142,135 千円）並びに昭和55年度組合会計予算（250,000 千円）及び本部・署設置条例等可決なる
28	庁舎用地第 1 年次分登記完了
3. 3	庁舎改築工事入札、榊田組が落札（18,300 千円）
26	和歌山県市町村職員退職手当組合加入許可なる
4. 1	消防吏員任用式（27名）
2	消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令に基づく告示 （自治省告示第81号）
5. 8	広報車購入（900 千円）
29	榊田組と庁舎増築工事仮契約（33,000 千円）
6. 5	かつらぎ町から庁舎用地内の施設（井戸一基、し尿浄化槽）を無償で譲渡される
7. 15	庁舎用地第 2 年次分売買契約締結
8. 20	し尿浄化槽改修工事及び排水溝改修工事施行
25	出勤標示灯用地占用許可なる（建近和道占第91号） （許可期限昭和58年 3 月31日以後更新）
9. 2	当消防本部事務所を現在地に移転
18	ポンプ、タンク自動車入庫（ポンプ 7,400 千円・タンク 11,290 千円）
19	自営構内交換設備等検査合格（公社電話 119 番及び 3 町ホットライン工事）
20	車庫入口レーザー侵入警報装置設置工事完了

年 月 日	内 容
昭和 55. 9. 24  30	指令車（ジープ）入庫（1,726 千円） 無線機取付検査完了 伊都消防組合消防本部・署開署式挙行 かつらぎ町患者輸送車譲り受け、九度山町患者輸送車借用する

業務開始後の経過

年 月 日	内 容
昭和	
55. 10. 1	午前0時から業務開始 第1係、第2係発令。全国消防長会東近畿支部、全国消防長会、和歌山県消防長会へそれぞれ加入。かつらぎ町農協有線119番移転工事完了
2	伊都県事務所にて危険物関係事務引継ぎを行う
12. 20	伊都農協有線119番設置なる
25	日本損害保険協会から救急車1台受贈、つばめ号と命名
56. 1. 23	消防庁舎用地登記完了
27	伊都・高野山ライオンズクラブから映写機受贈
2. 2	県非常勤職員公務災害補償組合加入認可
3. 2	組合規約一部変更認可
11	伊都地方消防相互応援協定施行
4. 1	昭和56年度新規採用消防吏員任用式(7名) 全国消防協会へ加入
14	伊都・那賀郡消防組合相互応援協定施行
17	かつらぎ町農協有線緊急放送設備完了
6. 26	和泉市と消防相互応援協定締結
9. 14	伊都消防組合例規集刊行(ぎょうせい80冊、1,672千円)
10. 14	訓練塔完成(榊田組6,800千円)
57. 1. 14	防火基準適合表示公表制度実施要綱設置
23	職員定数を43名以内に改正
2. 18	単車1台購入(110千円)
3. 2	予防査察車購入(958千円)
6	訓練場整備工事、榊田組(800千円)
13	訓練場フェンス設置、宮部稔(370千円)
4. 1	昭和57年度新規採用消防吏員任用式(8名) 野上美里消防組合、美里町と伊都消防組合、かつらぎ町との消防相互応援協定施行
5. 26	救急医療情報システム業務開始
8. 1	台風10号接近並びに集中豪雨
19	第11回全国消防救助技術訓練大会2名出場〔横浜市〕
22	第9回県消防団ポンプ操法大会 かつらぎ町消防団第5分団が小型ポンプ操法の部で優勝
9. 1	防災の日として設定される
9	救急の日として設定される
10. 19	化学消防自動車購入(17,900千円)
58. 3. 11	8人乗組立式ボート舟外機付購入(755千円)
25	4週5休制施行
8. 19	第12回全国消防救助技術訓練大会3名出場入賞〔大阪市〕
59. 3. 12	那賀郡消防組合と消防相互応援協定に関する申し合せ締結
8. 23	日本消防協会から平婦人消防隊及び上志賀婦人消防隊に軽可搬消防ポンプ、当消防本部に携帯用無線機10台及び携帯用拡声器2台交付される〔贈呈式 大阪球場〕
10. 1	消防水利施設の設置等に関する念書調印〔管内3町〕
60. 2. 27	無線前進基地局(イトショウ ミナミ)落成検査
6. 18	連続放火犯逮捕される 本事件に伴う巡視状況 巡視回数 226回 所要時間 439時間20分

年 月 日	内 容
昭和	
60. 6. 18	延人員 521 人 延時間 958 時間 延走行距離 9,120 km
8. 26	可搬ポンプ積載車入庫 (1,091 千円)
61. 3. 26	和歌山県農協共済福祉協会より救急車 1 台受贈
6. 29	新生児 (NICU) 広域搬送第 1 号
8. 1	日本消防協会から消防本部へ指令広報車、かつらぎ町大谷婦人防火クラブへ 軽可搬ポンプ受贈〔贈呈式 大阪城公園〕
3	第11回県下消防ポンプ操法大会〔那智勝浦町〕 高野口町消防団第 2 分団第 2 部 ポンプ車操法の部 準優勝
30	高野口町向島で大火 焼損11棟・延 2,114 m <sup>2</sup> 損害額 252,923 千円 負傷者 消防団員 1 名
9. 2	高野口町小田で大火 焼損 1 棟・延 1,619 m <sup>2</sup> 損害額 414,781 千円 負傷者 消防吏員 3 名 団員 1 名
10. 1	河川流域総合情報システム専用端末装置設置契約 (月額 125 千円)
31	和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会設立記念婦人防火大会 大谷婦人防火クラブ員 5 名出席〔和歌山市〕
11. 11	指令広報車及び広報車に無線機取付
62. 2. 20	訓練塔改造及び整備工事契約 畠山建設鉄工所 (1,100 千円) 訓練塔塗装工事契約 西山看板店 (924 千円)
3. 23	ワープロ導入
6. 18	空気充填コンプレッサー 和歌山防火協会と契約 (2,950 千円)
8. 17	高野口町平阪特殊織物火災 2 件 放火犯逮捕される
21	第16回全国消防救助技術大会出場〔千葉市〕
9. 29	高圧ガス製造許可 (圧縮空気)
10. 29	空気充填機機械室新築工事契約 平岡組 (625 千円)
11. 1	4 週 6 休制施行 (隔日勤務者 5 当務 1 公休制にし、48 週 60 休とする)
17	職員 B 型肝炎ワクチン第 1 回接種 (11/20・11/24)
18	非常電源設備設置 近畿 N E C 商品販売株式会社 (695 千円)
63. 2. 9	伊都消防組合規約変更許可なる 組合議員12人を 9 人に減、助役にかえて副管理者 2 名を置き収入役は管理者の属 する町の収入役を充てる 議員及び執行部の任期は関係町の任期による
16	消防長 高野口町防災会議委員に任命される
4. 1	消防吏員 1 名採用
8	九度山町上古沢婦人防火クラブ発足 (クラブ員16名)
21	昭和62年度消防定例表彰式出席〔和歌山市〕 長官表彰旗 伊都消防組合・九度山町消防団受賞
6. 1	高圧ガス取扱者免許 2 名取得
10	高野口町大野 中野源一氏より救急車 1 台受贈贈呈式挙行
21	電話回線増設 一般 (22-0119) ファクシミリ専用 (22-6694)
7. 22	高野口町田原婦人防火クラブ結成式参列 (クラブ員50名)
26	ファクシミリ開通 (22-6694)
8. 3	旧救急車を救助資器材搬送車として運用開始
10. 19	高圧ガス製造施設変更許可 変更後処置能力 (144.1 m <sup>3</sup> /日)
平成	
元. 2. 1	溝端邦也消防長兼署長に就任
3. 7	消防無線基地局第 2 装置 (予備) 設置 (1,330 千円)

年 月 日	内 容
平成	
元. 3. 13	車庫塗装工事入札西山看板店落札 (650 千円)
4. 14	高野口町大野中野源一氏より救急車両整備基金として 500 万円受贈
25	高野口町 6 保育所 281 名幼年消防クラブ発足
6. 1	前川宏署長兼本部警防係長に就任
7	第 1 回職員高齢化対策推進委員会開催 (主幹課長・本部)
22	予防査察車購入 (軽四ワゴン車)(1,203 千円)
8. 1	妙寺保育所幼年消防クラブ発足 (48名)
20	集団救急事故発生想定訓練実施〔九度山橋下流〕 主催 県医師会・伊都医師会・高野口町・伊都消防組合 共催 和歌山県・県警本部・橋本市消防署・高野町消防署・高野口保健所 和医大紀北分院・橋本市民病院・かつらぎ町・九度山町 N T T 橋本営業所 参加人員 223 人
21	車庫・書庫等庁舎増改築工事設計委託の入札 平設計・中村平氏落札 (800 千円)
9. 5	井戸給水ポンプ取替工事入札 紀北大西電設落札 (660 千円)
10. 20	第10回幼年消防全国大会出席〔郡山市〕 日本防火協会より高野口町向島保育所幼年消防クラブに鼓笛隊セット40組受贈
11. 1	産業医契約 (かつらぎ町米田小児科・米田幸雄氏)
13	車庫・書庫等庁舎増改築工事入札 井端組落札 (36,050 千円)
2. 4. 2	消防職員の若返り策に関する協定書調印
7. 1	九度山町下古沢婦人防火クラブ発足 (クラブ員24名)
8. 1	和歌山県防災行政無線システム運用開始
2	九度山町下古沢婦人防火クラブに日本防火協会より軽可搬ポンプ (D - 1 級) 受贈
18	体力錬成用具購入 (1,000 千円)
24	第19回全国消防救助技術大会 6 名出場〔広島市〕
9. 1	九度山町中古沢婦人防火クラブ発足 (クラブ員15名)
10. 21	伊都消防10周年記念祭開催〔かつらぎ公園・かつらぎ勤労者体育センター〕 予算 (2,250 千円)
12. 27	橋本ロータリークラブより 8 ミリビデオカメラ受贈
3. 2. 2	救助工作車購入 (28,736 千円)
3. 1	古沢・河根・九度山幼稚園幼年消防クラブ発足 栗の実・杉の子・兄井・西飯降子供会少年消防クラブ発足
30	少量危険物倉庫設置 (5.23 m <sup>2</sup> )(471 千円) 車庫屋根カラー鋼板塗替塗装 (550 千円)
4. 1	消防吏員 5 名採用 伊都消防幼少年婦人防火委員会発足
16	高野口町長に松本一郎氏無投票当選 (副管理者)
9. 11	消防ポンプ自動車受納式挙行 (社団法人) 日本損害保険協会寄贈
10. 1	毎日勤務職員第 2 第 4 土曜日閉庁・隔勤職員週44時間勤務実施
11. 13	妙寺保育所幼年消防クラブで鼓笛隊セット伝達式挙行
3. 31	前岡真也消防士長退職 (人事交流により 4/1 からかつらぎ町役場採用) 訓練塔 B 階段・物置設置工事完了 (5,377 千円)
4. 8. 11	かつらぎ郵便局で郵便料金後納取扱承認なる
25	隔日勤務者 3 当務 1 公休制 (週42時間勤務) 実施
31	携帯無線機 2 機購入 (309 千円)
12. 13	車載無線機 3 機購入 (1,050 千円)

年 月 日	内 容
平成	
4. 12. 17	ワープロ 4 台購入 (560 千円)
	21 九度山町サイレン遠隔吹鳴装置完成
5. 2. 24	駐車場工事入札 木村組落札 (5,200 千円)
3. 30	広報車購入トヨタ・カルディナ 1800cc 2WD CZ4AT (1,700 千円)
	31 駐車場整備工事完了 (5,356 千円)
4. 1	毎日勤務者週40時間制導入 消防吏員 5 名採用
	27 パソコン導入
6. 28	森田泰弘消防士長退職 (人事交流により 7/1 から高野口町役場採用)
7. 1	前川宏消防署長を消防本部次長に任命 赤井英之庶務係長を消防署長に任命、消防司令に昇任
	25 紀の川下り筏転覆事故発生 水死者 2 名・救助者 4 名
8. 20	第22回全国消防救助技術大会 2 名出場〔福岡市〕
9. 3	訓練塔塗替工事契約 西山看板店 (2,191 千円)
	30 北浦恭弘消防士長退職 (人事交流により 10/1 からかつらぎ町役場採用)
10. 24	伊都高野山ライオンズクラブ発足30周年記念に準高規格救急車の寄贈を受ける
11. 1	救急処置 9 項目運用開始
12. 16	日本防火協会より笠田保育所幼年消防クラブに鼓笛隊セット受贈伝達式挙行
6. 3. 2	伊都消防組合庁舎及び消防施設整備基金条例の設置可決
4. 1	消防吏員 3 名採用 救急隊専従 交替制勤務職員週 40 時間制実施
8. 25	第23回全国消防救助技術大会 1 名出場〔京都市〕
9. 28	上久保明消防士長退職 (人事交流により 9/30から高野口町役場採用)
	30 東勝巳消防士長退職 (人事交流により10/1 からかつらぎ町役場採用)
7. 1. 10	県立医大附属病院紀北分院が救急病院として告示される (～10年 1 月 6 日)
	17 阪神・淡路大震災発生により神戸市へ応援隊派遣 (1/17～1/26)
3. 31	浦野光広消防士長退職 (人事交流により 4/1 からかつらぎ町役場採用)
4. 1	消防吏員 4 名採用
	28 赤井義治消防士長退職 (人事交流により 4/30から高野口町役場採用)
6. 2	日本防火協会から「防火号」の寄贈を受ける
	30 収入役 南衛氏退任
7. 27	搬送車購入 (2,976 千円)
8. 25	第24回全国消防救助技術大会 2 名出場〔北九州市〕
10. 1	伊都消防組合15周年記念誌発行
	23 管理者に南衛氏就任
11. 7	収入役に廣畑晴夫氏就任
8. 1. 12	和歌山県下消防広域相互応援協定書押印
3. 9	和歌山県防災ヘリコプター運行開始
	31 坂本真史司令補退職 (人事交流により 4/1 から九度山町役場採用)
4. 1	消防吏員 4 名採用
8. 23	第25回全国消防救助技術大会 2 名出場〔札幌市〕
9. 1. 24	重油流出事故による巡視
3. 19	NICU への搬送に係る応援協定書締結
4. 1	消防吏員 3 名採用
5. 31	西畑和哉消防士長退職 (人事交流により 6/1 からかつらぎ町役場採用)

年 月 日	内 容
平成	
9. 7. 12	第2次救急医療輪番制発足
10. 1. 13	高規格救急自動車納車(31,836千円)
	19 水槽付き消防ポンプ自動車納車(28,665千円)
	3. 31 溝端邦也消防長・前川 宏次長退職
	4. 1 赤井英之消防署長が消防長に就任 薄井茂裕庶務係長が署長に就任
	9. 9 毒物混入カレー事件に係わる集団救急事故に関する研修会出席
10. 1	本部・署の組織変更(3課2班制)
11. 3. 4	可搬ポンプ積載車入庫(1,386千円)
	23 国際ソロプチミスト和歌山・紀北より消防指令車贈呈される
	5. 18 防災センター建設工事入札(147,000千円)木村組落札
	6. 1 防災センター起工式
	7. 8 消防緊急通信指令装置・新発信地表示システム入札(125,450千円) 富士通・NTT落札
	12. 20 防災センター建築完了検査
	31 Y2Kに伴う対策本部設置
12. 1. 1	Y2K特別体制
	31 救急活動への支援出動開始
	3. 15 伊都消防組合防災センター・消防緊急通信システム竣工式挙行
	4. 1 消防緊急通信指令システム運用開始 災害弱者緊急通報システム(かつらぎ町)運用開始
	5. 8 天野・志賀・新城において発生した林野火災不審火防止対策会議開催
11. 22	和歌山県防災ヘリコプターによる3消防本部合同消防隊員・資器材輸送訓練開催 (23名参加)〔紀ノ川グラウンド〕
13. 1. 6	省庁再編
	17 妙寺警察と伊都消防組合との合同訓練(倒壊家屋救出・救命訓練)
	4. 23 笠田東・笠田中地域の不審火火災防止の巡視(~30日)
	5. 29 予防査察車入札
	6. 29 予防査察車更新配備
	7. 25 伊都消防組合水難救助検索訓練実施(2班・日勤)26日(1班・日勤)
	8. 8 第30回全国消防救助技術大会1名出場(~9日)〔東京都〕
	9. 5 消防大学第63期・上級幹部科1名入校(~10/5)〔東京都〕
	10. 24 和歌山県下緊急消防援助隊紀北ブロック合同訓練13名参加〔高野町〕
	12. 4 天野トンネル開通式出席〔かつらぎ町〕
14. 3. 19	かつらぎ町南山間地(志賀・新城・天野)不審火火災防止の巡視(~31日)
	4. 1 新規採用職員(1名)任用式
	16 九度山町長選挙告示(奥野恒太郎氏当選)
	7. 5 初任教育第26期への体育泳法講師2名派遣〔県消防学校〕
	19 災害対応特殊救急自動車・高度救命処置用資機材入札執行
	23 初任教育第26期への救助訓練講師派遣〔県消防学校〕
	8. 18 伊都消防組合監査委員 南隆男氏(識見者)再任
	23 第31回全国消防救助技術大会5名出場〔愛知県〕
	10. 8 救急救命東京研修所入校(~平成15年3月25日)
	11. 25 震災消防計画関係町合同会議開催
	12. 25 ドクターヘリ出動要請訓練7名参加〔橋本市〕
15. 1. 16	ドクターヘリとの現場想定訓練実施〔紀ノ川第2グラウンド〕

年 月 日	内 容
平成	
15. 2. 5	災害対応特殊救急自動車納車及び高度救急処置用資器材納入
17	市町村合併協議会発足に伴う第1回消防専門部会出席〔橋本市〕
3. 13	救急標準課程講師2名派遣〔県消防学校〕
24	救急救命東京研修所卒業式出席・岡本修明消防副士長 成績優秀表彰受賞〔東京都〕
4. 1	和歌山県防災航空隊職員派遣～3年間・井上典和消防士長〔白浜町〕
5. 1	阪和林野消防協議会第33回定期総会開催〔かつらぎ町総合文化会館〕
8	総合教育消防大学校上級幹部科・第66期入校～6/5日〔東京都〕
9	紀北地域救急業務高度化推進協議会総会開催〔かつらぎ町〕
7. 24	第26回和歌山県組合消防委員会開催〔かつらぎ町志賀ふれあい会館〕
10. 10	伊都消防組合南管理者送別式挙行
14	伊都消防組合管理者事務引継
15	3町1村合併協議会発足に伴う第1回消防専門部会出席（九度山町ふるさとセンター）
11. 19	県消防協会伊都支部自治体消防発足55周年記念大会2名出席～20日〔東京都〕
16. 2. 27	危険物漏洩事故発生〔かつらぎ町笠田中〕に伴う対策実施
3. 2	救急救命士気管挿管講習第1期2名受講〔県消防学校〕
6. 29	高野山町石道の7月7日の世界遺産登録（紀伊山地の霊場と参詣道）に備えての事前調査実施（29日・30日）
8. 26	第33回全国消防救助技術大会出場（障害突破訓練）〔兵庫県〕
10. 12	AED処置資格全職員取得（10/12・22日講習実施）
17. 1. 6	平成17年伊都消防組合管理者特別点検実施
9	三町消防出初式参列
3. 31	赤井英之消防長退職
4. 1	薄井茂裕消防長就任
5. 26	第28回全国消防職員意見発表会出席〔熊本市〕
6. 10	第3回緊急消防援助隊全国合同訓練参加〔静岡市〕
8. 1	聴覚障害者緊急メール（eメール）運用開始
9. 4	かつらぎ町防災訓練参加〔大谷地区〕
10. 1	かつらぎ町・花園村合併記念式典1名出席
28	平成17年度緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練及び県緊急消防援助隊訓練救急隊参加（28日・29日・和歌山市）
12. 1	花園地区119番切替え完了
18. 3. 1	橋本市と高野口町が合併
27	携帯119番直接受信開始
4. 27	京奈和自動車道橋本道路開通（高野口～橋本間）
5. 24	甲種防火管理者講習会（24日再講習・25・26日新規講習）〔かつらぎ総合文化会館〕
7. 30	第21回和歌山県消防ポンプ操法大会（九度山町消防団出場）〔御坊市〕
8. 1	救急救命士薬剤投与追加講習1名受講〔北九州市〕～9月1日迄
27	平成18年度和歌山県総合防災訓練参加（4車両・人員25名）〔かつらぎ町紀ノ川河川敷〕
9. 13	不審火による巡視活動（妙寺・三谷地区）実施～10月2日迄
10. 11	平成18年度和歌山県消防職員意見発表会1名参加 最優秀賞 消防士長 門 誠 受賞
30	平成18年度消防大学校第70期上級幹部科1名〔東京都〕～11月16日迄
12. 1	職員へ消防情報配信システム（メール）の運用開始
19. 1. 7	かつらぎ町消防出初式合同参加（次長他1名・署第2班）
3. 1	春季火災予防運動～7日迄
4. 25	全国消防長会東近畿支部意見発表会〔福井県〕門誠士長優秀賞受賞

年 月 日	内 容
平成	
19. 6. 14	第 36 回和歌山県消防救助技術会〔和歌山西消防署〕
7. 24	消防職員委員会開催
8. 19	高野口方面隊合同訓練 9 名参加〔紀ノ川河川敷〕
9. 18	R371 総合防災訓練〔かつらぎ町花園南〕
11. 3	かつらぎ町産業まつり 10 名参加
11. 9	秋季全国火災予防運動 ~ 15 日迄
12. 26	年末火災特別警戒 ~ 31 日迄

## 年間業務概況

年 月 日	内 容
平成 20 1. 4	仕事始め式 平成 19 年度和歌山県下消防吏員昇任資格試験告示
6	九度山町消防出初式合同参加（次長他 1 名・署第 2 班） 和歌山県消防協会伊都支部長より 10 年勤続章 3 名受賞 和歌山県消防協会伊都支部長より功績章 2 名受賞 （加藤消防士長・下村消防士長） かつらぎ町消防出初式消防長他 1 名参列 橋本市消防出初式警防課長他 1 名参列
7	管理者特別点検及び管理者会議開催 平成 19 年度消防大学校上級幹部科入校〔東京都〕 ～ 24 日迄
11	救急救命士生涯研修 1 名〔紀和病院〕 第 3 回橋本市児童虐待防止講演会 1 名出席〔橋本市教育文化会館〕
13	那賀消防組合出初式出席（消防長他 1 名）
16	救急救命士生涯研修 1 名（橋本市民病院）
17	非常招集訓練及び震災時初動体制訓練実施（6 時 45 分～8 時 30 分） 第 14 回伊都・橋本地区小児ミニ輪番運営委員会 2 名出席〔伊都医師会館〕
18	平成 19 年度和歌山県下消防士長昇任試験実施〔5 名受験〕 第 1 回橋本市民病院救急症例検討会 5 名出席
19	文化財防火デーに伴う丹生官省符神社訓練〔10 名参加〕
22	紀北地域防災懇談会 2 名出席〔那賀振興局〕
24	第 16 回全国救急隊員シンポジウム 1 名出席〔静岡県〕 ～ 25 日迄
25	銃砲検査
26	第 54 回文化財防火デー 丹生都比売神社訓練 5 名参加 AED 普及・啓発シンポジウム 1 名講師派遣〔和歌山市民会館〕
29	伊都地方病院群輪番制会議 3 名出席〔橋本市紀北川上農協橋本支店〕
31	平成 19 年度違反是正研究会 1 名出席〔和歌山市〕 平成 19 年度市町村職員法制執務研修 2 名出席〔自治会館〕 ～ 2 月 1 日迄 和歌山県消防長会症例検討会 3 名出席〔田辺市〕 新高規格救急自動車完成検査
2. 4	阪和林野消防協議会事務担当者会議 1 名出席〔岸和田市〕
8	救急救命士生涯研修 1 名〔紀和病院〕
12	平成 19 年度ドクターヘリ運航に関する症例検討会 2 名出席〔和医大〕
13	平成 20 年第 1 回組合議会開催〔伊都振興局 3 階会議室〕 ○ 報告第 1 号 伊都消防組合職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について ○ 議案第 1 号 伊都消防組合職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例について ○ 議案第 2 号 伊都消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について ○ 議案第 3 号 伊都消防組合職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について ○ 議案第 4 号 平成 19 年度伊都消防組合会計補正予算（第 2 号） ○ 議案第 5 号 平成 20 年度伊都消防組合会計予算 ○ 議案第 6 号 和歌山県市町村非常勤公務災害補償組合規約の変更について

年 月 日	内 容
平成	
20. 2. 20	AED 指導者講習会講師派遣 1 名〔県民文化会館〕
21	平成 19 年度第 3 回伊都消防・消防団役員会議開催
22	平成 19 年度和歌山県消防長会事務担当者会議 2 名出席〔和歌山市消防局〕
27	救急救命士生涯研修 1 名（橋本市民病院）
29	救急救命士生涯研修 1 名（紀和病院）
3. 1	春季火災予防運動 ～7 日迄 阪和林野消防協議会一斉広報〔車両・防災ヘリ〕
2	平成 19 年度橋本市消防団総合訓練〔高野口町紀ノ川河川敷〕 かつらぎ町消防団北部方面隊消防訓練〔短野〕
3	和歌山県立医科大学附属病院・病院研修打ち合わせ 2 名〔医大〕
6	和歌山県消防長会伊都支部幹部研修 1 名出席〔東京都・静岡県〕～8 日迄
7	自治体消防制度 60 周年記念式典 消防記念日
11	安全関係者会議開催〔多目的ホール〕
12	第 19 回 ICT フォーラム近畿 1 名出席〔ホテルプリムローズ大阪〕
13	紀北地域救急高度化推進協議会幹事会・救急研修会 3 名出席〔海南市〕
17	和歌山県危険物事故防止連絡会 1 名出席〔県庁南別館〕
19	救急救命士生涯研修 1 名（橋本市民病院）
22	近畿救急医学研究会第 115 回救急隊員部会 3 名出席〔和歌山市〕
23	救急救命士国家試験 1 名受験
27	警防会議開催
4. 10	第 9 回五條・橋本・伊都地区広域小児二次救急連絡会議 2 名出席〔橋本市民病院〕
14	救急救命士就業前病院研修 1 名〔紀北分院〕 ～18 日迄
17	平成 20 年度和歌山県消防長会第 1 回定期総会 2 名出席〔有田市〕
25	平成 20 年度和歌山県消防協議会第 1 回役員会 2 名出席〔県庁南別館〕
28	かつらぎ町消防団ポンプ操法結団式 1 名出席〔かつらぎ防災センター〕
5. 9	紀北地域救急業務高度化推進協議会総会 3 名出席〔有田川町〕
12	平成 20 年度薬剤投与追加講習 1 名受講〔九州研修所〕 ～6 月 13 日迄
14	法人税説明会 1 名出席〔粉川商工会館〕
15	第 15 回伊都・橋本地区小児ミニ輪番会議 2 名出席〔伊都医師会館〕
16	近畿医学研究会第 116 回救急隊員部会 1 名出席〔吹田市〕 和歌山県総合防災システム操作研修会 2 名出席〔県庁南別館〕
19	救急救命士就業前病院研修 1 名〔医大〕 ～23 日迄
20	殉職警察職員・殉職消防職団員及び消防協力殉職者慰霊祭 2 名出席〔県警察学校〕
22	第 22 回和歌山県消防ポンプ操法大会審査員講習会 1 名出席〔有田振興局〕
23	平成 20 年度第 1 回伊都消防・消防団役員会議開催〔防災センター多目的ホール〕 第 37 回消防救助技術東近畿地区指導会実施要綱説明会 1 名出席〔京都市消防局〕
27	かつらぎ町新採職員職場研修 5 名受講〔伊都消防〕 ～28 日迄
28	阪和林野消防協議会定期総会 2 名出席〔岸和田市〕
29	第 20 回伊都消防救急業務高度化委員会総会開催〔防災センター多目的ホール〕
30	伊都消防救助技術会開催 平成 19 年度出納閉鎖
6. 1	かつらぎ町消防団新入団員訓練〔伊都消防署〕
2	和歌山県消防救助技術運営担当者会議 1 名出席
3	通常点検 パソコン研修 1 名出席〔海南市リサーチラボ〕 ～4 日迄

年 月 日	内 容
平成 20. 6. 3	平成 20 年度県消防協会伊都支部理事会・役員会 2 名出席〔伊都振興局〕 災害共済事務担当者会議 1 名出席〔自治会館〕
4	救急救命士入学前テスト 1 名受講〔県消防学校〕 救急救命士気管挿管実習 1 名〔日赤病院〕 ~ 11 日迄
5	全国消防長会 1 名出席〔東京都〕 ~ 6 日迄
7	第 11 回日本臨床救急医学会 1 名出席〔東京都〕 ~ 8 日迄
9	消防大学校救助課入校 1 名〔東京都〕 ~ 8 月 1 日迄
11	第 37 回和歌山県消防救助大会 20 名出席〔和歌山市・西消防署〕
12	危険物安全推進講演会 1 名出席〔大阪市〕
16	薬剤投与病院実習 1 名〔日赤病院〕 ~ 20 日迄
23	給与実態指定統計ヒヤリング 1 名出席〔県職員会館〕
26	平成 20 年度公平委員会開催〔多目的ホール〕 日本防火協会主催防火管理講習会開催〔紀北青少年の家〕 ~ 27 日迄
30	第 5 回伊都地方病院群輪番制参加病院長会議 3 名出席〔紀北川上農協橋本支所〕
7. 2	平成 20 年度和歌山県婦人防火クラブ連絡協議会役員会・研修会 2 名出席〔有田市〕
3	救助技術大会施設訓練 6 名〔京都市消防学校〕
7	東近畿支部予防業務研究会 1 名出席〔京都市〕 ~ 8 日迄
8	平成 19 年度決算監査〔防災センター多目的ホール〕
9	県消防長会予防部会 1 名出席〔御坊市〕
11	かつらぎ町消防団ポンプ操法大会出場壮行会 13 名出席〔大谷小学校〕
13	橋本市消防団高野口町方面隊ポンプ操法激励 5 名出席〔応其小学校〕
14	救急救命士生涯研修 1 名〔紀北分院〕
16	救急救命士生涯研修 1 名〔紀北分院〕 硫化水素ガス対応検証実験見学 4 名〔和歌山市紀の川第 3 緑地〕
17	県消防長会救急部会 2 名出席〔和歌山市消防局〕
18	県消防長会警防部会 1 名出席〔新宮市消防本部〕
23	救急救命士生涯研修 1 名〔紀北分院〕
24	平成 20 年度第 1 回消防職員委員会会議開催〔防災センター多目的ホール〕 橋本・伊都消防再編会議 4 名出席〔橋本市消防本部〕
26	第 22 回消防ポンプ操法第 2 回審査員講習会 1 名出席〔湯浅町〕 ~ 27 日迄
27	和歌山県消防協会主催第 22 回消防ポンプ操法大会 3 名出席〔湯浅町〕 ○ かつらぎ町消防団出場〔伊都支部代表〕 ○ 橋本市消防団高野口方面隊〔橋本支部代表〕
28	救急救命士生涯研修 1 名〔紀北分院〕 危険物保安技術講習会 1 名出席〔東京都〕 ~ 29 日迄
29	パソコンパワーポイント作成等受講 1 名出席〔海南市〕 ~ 30 日迄
30	平成 20 年第 1 回管理者会議開催〔多目的ホール〕 救急救命士生涯研修 1 名〔紀北分院〕
31	平成 20 年度第 4 回消防広域セミナー 1 名出席〔大阪市〕 火災調査技術会議 2 名出席〔名古屋市〕
8. 2	近畿救急医学会第 117 回救急隊員部会 1 名出席〔大阪市〕
4	和歌山県消防学校講師派遣 1 名
6	第 37 回消防救助技術東近畿地区指導会 8 名出席〔京都市消防学校〕
12	平成 20 年第 2 回伊都消防組合議会定例会開催〔多目的ホール〕 ○ 報告第 2 号 伊都消防組合公告式条例の一部を改正する条例について ○ 報告第 3 号 損害賠償の額を定めることについて

年 月 日	内 容
平成 20. 8. 12	○ 議案第 7 号から 9 号 伊都消防組合公平委員の選任について ○ 議案第 10 号 平成 19 年度伊都消防組合会計歳入歳出決算認定について ○ 議案第 11 号 平成 20 年度伊都消防組合会計補正予算〔第 1 号〕
14	かつらぎ町要保護児童対策地域協議会 1 名出席〔かつらぎ総合文化会館 4 階会議室〕
19	第 48 回全国消防長会東近畿支部消防研修会 1 名出席〔京都市〕 ~ 20 日迄
21	消防長研修会 1 名出席〔岐阜市〕 ~ 22 日迄
28	全国優良職員表彰式 2 名出席〔北九州市〕 ~ 29 日迄 橋本市児童虐待防止ネットワーク会議 1 名出席〔橋本市教育文化会館〕
30	防災週間~9 月 5 日迄
31	かつらぎ町防災訓練 14 名参加〔妙寺中学校〕
1	防災の日 平成 20 年度近畿府県合同防災訓練に伴う緊急援助隊受援に関する図上訓練 2 名参加〔県庁南別館〕
9. 4	職員健康診断
5	職員健康診断 救急医療週間 ~ 11 日迄
7	普通救命講習会開催〔一般公募〕 22 名受講 伊都支部現地教育 5 名出席〔県防災訓練見学〕紀の川市
8	救急救命士新規養成課程 1 名受講〔北九州市〕 ~ 平成 21 年 3 月 24 日迄
9	救急の日 救急同乗者研修 1 名〔紀北分院看護師〕
10	救急同乗者研修 1 名〔紀北分院看護師〕 平成 20 年度和歌山県下緊急消防援助隊紀北ブロック訓練打合せ 2 名出席〔橋本消防〕
11	救急研修会〔紀北分院川上医師講演〕防災センター多目的ホール
12	救急同乗者研修 1 名〔紀北分院医師〕
13	船舶免許更新講習 6 名受講〔ビック愛〕
17	救急講習会〔橋本市民病院院長講演〕 9 名出席〔橋本市消防本部 3 階〕 警防会議
18	第 16 回伊都・橋本地区小児ミニ輪番会議 2 名出席〔伊都医師会館〕
22	平成 20 年度全国消防長会東近畿支部業務研究会 1 名出席〔京都市〕 防火ポスター審査会〔多目的ホール〕
29	紀北地域救急業務高度化推進協議会救急研修会 3 名出席〔那賀消防本部〕
30	和歌山県緊急援助隊紀北ブロック訓練〔雨天の為実働訓練中止〕要請伝達訓練実施
10. 1	通常点検
2	平成 20 年度第 2 回伊都消防・消防団役員会議〔防災センター多目的ホール〕
4	橋本市災害医療フォーラム 5 名出席〔橋本市民病院〕
9	安全運転管理者会議 1 名出席〔紀北青少年の家〕 小児 2 次輪番会議 2 名出席〔橋本市民病院〕
14	平成 20 年度消防防災 ICT 化推進に係る連絡会議 2 名出席〔京都市〕
15	幹部教育上級幹部科 1 名受講〔県消防学校〕 ~ 16 日迄 幹部教育上級幹部科特別聴講 1 名受講〔県消防学校〕
16	退職手当事務組合担当者会議 2 名出席〔和歌山県自治会館〕
20	和歌山県消防長会定期総会・意見発表会 3 名出席〔和歌山市ダイワロイネットホテル〕 ○塩山士長 最優秀賞受賞
21	専科教育救助科 2 名受講〔県消防学校〕 ~ 11 月 19 日迄
22	笠田高校職場体験学習 ~ 23 日迄
25	新型インフルエンザ対策訓練 2 名見学〔紀美野町〕

年 月 日	内 容
平成	
20. 10. 28	生涯生活充実型ライフプランセミナー2名出席〔和歌山市東急イン〕
30	幹部職員特別研修2名参加〔和歌山自治会館〕 ~ 31日迄
31	消防設備士講習2名出席〔和歌山市〕
11. 3	かつらぎ町産業祭り参加〔消防車展示〕
4	防火ポスター等展示〔かつらぎ町総合文化会館〕 ~ 12日迄
	幼年消防クラブ防火パレード実施 ~ 14日迄〔17クラブ〕
5	高野口中学校職場体験学習 ~ 7日迄
6	県消防学校救助科公開講座2名出席
7	住宅防火対策推進シンポジウム1名出席〔宇治市〕
9	秋季火災予防運動 ~ 15日迄
	かつらぎ町消防団5・6・7・8分団合同訓練5名出席〔新城地区〕
10	消防学校救助科想定訓練見学5名出席 ~ 11日 4名出席
13	第21回伊都消防救急高度化委員会開催
	一部事務組合統合についての説明会2名出席〔自治会館〕
16	平成21年度伊都消防組合職員採用一次試験
18	和歌山県市町村職員共済組合議員選挙1名出席〔打田生涯学習センター〕
	自主防災組織育成短期講習会1名出席〔新梅田研修センター〕
19	県消防学校講師派遣1名〔救助専科〕
20	メンタルヘルス研修会1名出席〔新梅田研修センター〕
	改正消防法〔防災管理者等〕に係る説明会1名出席
21	タンクローリー路上検査実施〔背ノ山〕
25	救命士基礎学力テスト1名受験〔県庁南別館〕
26	主管課長会議開催
	危険物事故等防止対策セミナー1名出席〔奈良市〕
	違反是正演習会2名出席〔和歌山市〕
	専科教育特殊災害科2名出席〔県消防学校〕 ~ 12月4日迄
28	管理者会議開催
12. 2	専科教育特殊災害科特別聴講3名出席〔和歌山ビック愛〕
4	専科教育特殊災害科訓練見学6名出席〔和歌山市砂ノ丸広場〕
6	県道和歌山・橋本線〔山崎 兄井〕開通式2名出席
8	九度山中学校職場体験学習 ~ 10日迄
	救急救命士生涯研修1名〔医大〕
10	救急救命士生涯研修1名〔医大〕
	火災科学研修会1名出席〔京都市〕
11	救急救命士生涯研修1名〔医大〕
14	消防長会東近畿支部救急隊員部会1名出席〔兵庫県〕
15	職員採用2次試験
	幹部教育初級幹部科2名受講〔県消防学校〕 ~ 19日迄
19	ドクターヘリ説明会〔応援関係〕2名出席〔和歌山市〕
24	年末病院挨拶廻り ~ 25日迄
26	仕事納め式

## 歴代消防組合管理者・議長・消防長

### 歴代管理者

初代	木村重雄	昭和54年8月	～	昭和58年10月
二代	溝端康雄	昭和58年10月	～	平成7年10月
三代	南衛章	平成7年10月	～	平成15年10月
四代	山本恵章	平成15年10月	～	現在に至る

### 歴代消防組協議長

初代	中西治	昭和54年7月	～	昭和56年5月
二代	植阪武	昭和56年6月	～	昭和58年4月
三代	曾和之男	昭和58年5月	～	昭和62年4月
四代	三井光則	昭和62年6月	～	平成元年5月
五代	田中繁一	平成元年5月	～	平成3年4月
六代	井上一二三	平成3年5月	～	平成5年5月
七代	池ノ内正光	平成5年5月	～	平成7年4月
八代	大西利夫	平成7年6月	～	平成9年5月
九代	氏岡博	平成9年6月	～	平成11年4月
十代	橋川龍雄	平成11年6月	～	平成15年4月
十一代	上垣内裕一	平成15年5月	～	平成17年5月
十二代	中谷晉	平成17年5月	～	平成18年2月
十三代	上田順康	平成18年5月	～	平成19年4月
十四代	中上良隆	平成19年6月	～	現在に至る

### 歴代消防長

初代	田村恵一	昭和54年11月	～	平成元年1月
二代	溝端邦也	平成元年2月	～	平成10年3月
三代	赤井英之	平成10年4月	～	平成17年3月
四代	薄井茂裕	平成17年4月	～	平成18年3月
五代	山高國央	平成18年4月	～	現在に至る

## 管内状況（平成 20 年 12 月 31 日現在）

伊都消防組合消防本部・署の所在地

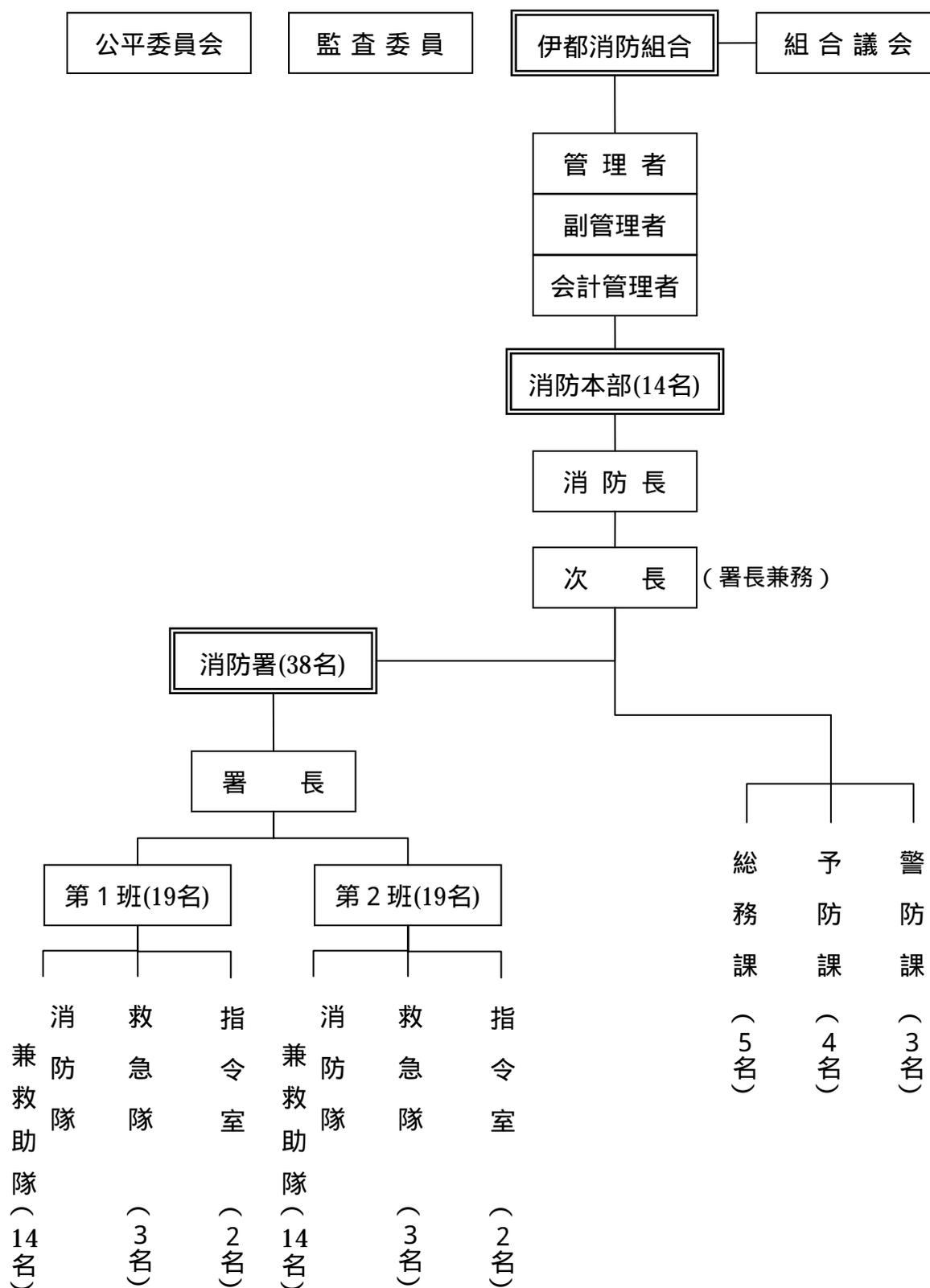
和歌山県伊都郡かつらぎ町大字妙寺 126 番地 12

敷地面積 3,720.840 平方メートル

（外国人登録含む）

地域別 区分	かつらぎ町	橋本市 高野口町区域分	九度山町	合計
人口	19,557 人	14,606 人	5,362 人	39,525 人
世帯	7,157 世帯	5,728 世帯	1,989 世帯	14,874 世帯
面積	151.73 km <sup>2</sup>	20.06 km <sup>2</sup>	44.19 km <sup>2</sup>	215.98 km <sup>2</sup>

伊都消防組合組織図（平成 20 年 12 月 31 日現在）



## 事務分掌（消防本部）

### ．総務課

総務係	消防の総合的企画に関する事	公告式に関する事
	公印の管守に関する事	議会事務及び諸会議に関する事
	文書、收受、発送に関する事	消防統計、広報及び渉外に関する事
	条例、規則、規程等の制定に関する事	職員の安全、衛生、健康管理に関する事
	職員の人事、給与、教養、勤務、規律に関する事	その他、他の課及び他の係の所管に属さない事項

経理係	予算及び決算に関する事	庁舎管理に関する事
	物品の出納保全に関する事	被服その他給貸与品に関する事
	消防施設整備事業に関する事	消防手数料に関する事

### ．予防課

予防係	火災予防対策及び予防広報に関する事	違反防火対象物の処理に関する事
	防火管理者に関する事	建築許可等の同意に関する事
	火災予防条例の規制に関する事	消防用設備等の規制及び指導に関する事
	予防査察及び防火訓練に関する事	その他予防業務及び他の係の所管に属さない事項

危険物係	危険物の規制に関する事	火災予防条例の規制に関する事
	危険物の保安に関する事	その他危険物業務に関する事

### ．警防課

警防係	災害の警戒、防ぎよ並びにその計画訓練に関する事	消防施設、機械器具の整備及び保管に関する事
	都市開発業務に関する事	火災原因調査に関する事
	応援協定に関する事	救急・救助業務に関する事
	消防団との連絡に関する事	その他警防に関する事

## 事務分掌（消防署）

庶務係	職員の諸手当、勤務、規律に関すること	車両共済に関すること
	職員の安全、保健に関すること	物品の管理に関すること
	文書の收受、発送に関すること	その他、他の係の所管に属さない事項

予防係	火災予防対策及び予防広報に関すること	圧縮アセチレンガス等の貯蔵等の届出に関すること
	予防査察及び防火訓練に関すること	その他予防業務に関すること
	火災予防条例の規制に関すること	

警防係	救助業務に関すること	被災証明に関すること
	火災の原因調査及び報告に関すること	消防車両、機械器具及び通信施設の管理並びに運用に関すること
	火災調査技術の指導に関すること	

消防係	火災の防ぎょに関すること	気象及び災害情報の収集並びに伝達に関すること
	消防地理及び水利に関すること	防火の集いに関すること
	警防計画に関すること	消防訓練に関すること
	身体弱者等の把握及び指導に関すること	

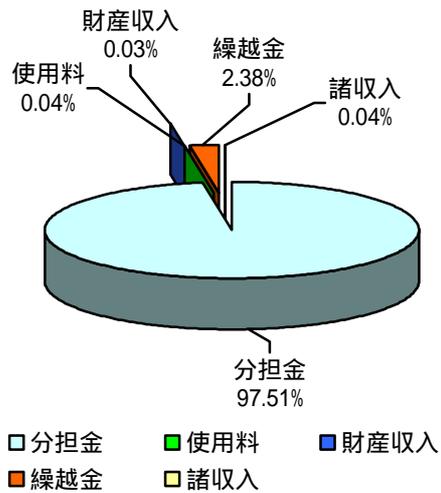
救急指導係	救急の高度化に関すること	住民の救急相談及び指導に関すること
	救急隊員の訓練指導に関すること	その他救急指導に関すること
	応急手当普及啓発活動に関すること	

救急係	救急資器材の管理に関すること	その他、救急業務に関すること
	救急関係の各種証明に関すること	

通信指令係	通信指令業務に関すること	通信施設の管理及び運用に関すること。
-------	--------------	--------------------

予算の概況（平成20年度当初）

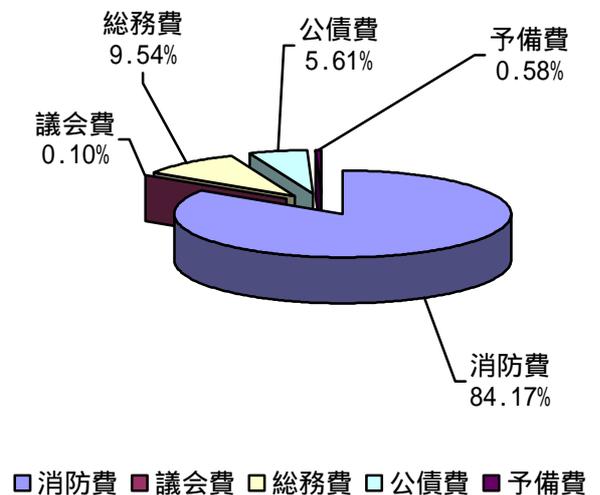
（単位：千円）



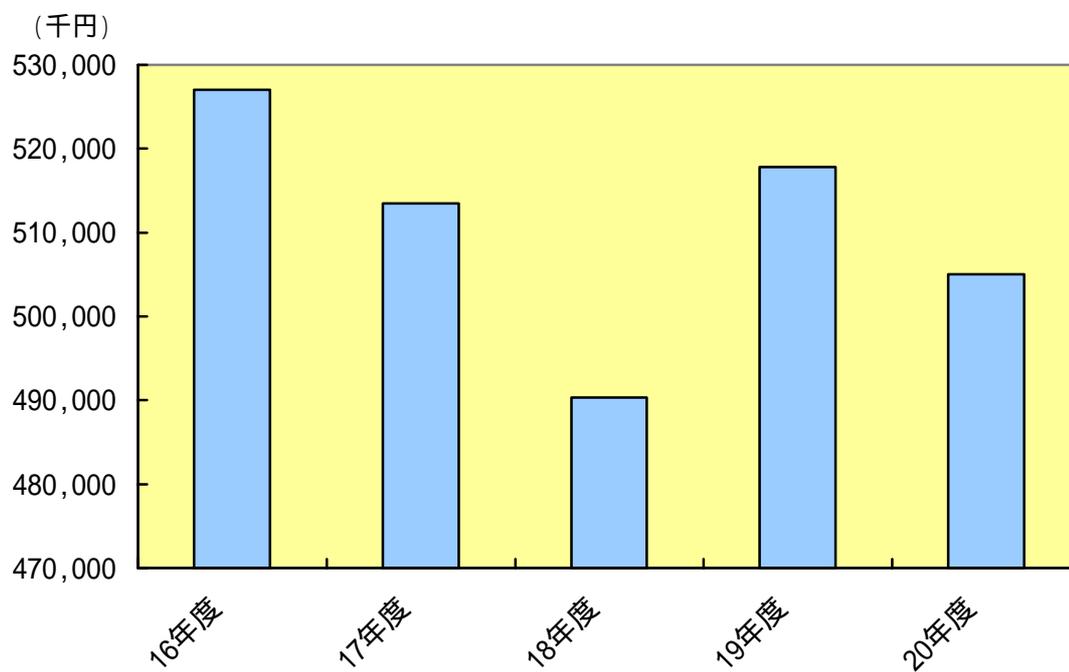
歳入合計		505,000
		492,450
分 担 金	かつらぎ町	229,278
	橋本市	179,117
	九度山町	84,055
使用料及び手数料		206
財 産 収 入		154
繰 越 金		12,000
諸 収 入		190

（単位：千円）

歳出合計	505,000
消 防 費	425,010
給 料	201,568
職 員 手 当 等	140,871
共 済 費	55,977
賃 金	1,359
報 償 費	196
旅 費	1,145
需 用 費	9,721
役 務 費	1,063
委 託 料	1,388
備 品 購 入 費	1,543
負担金、補助及び交付金	4,201
補償補填及び賠償金	1
積 立 金	1,500
消 防 施 設 費	4,423
水 防 費	54
議 会 費	490
総 務 費	48,201
公 債 費	28,347
予 備 費	2,952



## 消防予算の推移（5年間）



## 消防庁舎の現状（構造・規模）

区 分		構 造	建築面積 (㎡)	建 築 年 月 日
本 庁 舎	庁 舎	鉄筋コンクリート造 2 階 建	169.92	昭和 39 年 8 月 昭和55年 4 月購入 (改 造)
	車 庫	鉄 骨 造 平 屋 建	398.43	昭和55年 9 月17日
	増 築 庁 舎	鉄 骨 造 2 階 建	168.17	平成 2 年 3 月31日
空 気 充 填 室		コンクリートブロック造 平 屋 建	8.92	昭和62年11月30日
少量危険物倉庫		コンクリートブロック造 平 屋 建	5.23	平成 3 年 3 月30日
防 災 セ ン タ ー		鉄 骨 造 2 階 建	302.61	平成12年 4 月 1 日 (竣 工)
そ の 他 の 施 設	訓 練 塔 A	鉄 骨 造 5 階 建	18.00	昭和56年10月14日
	訓 練 塔 B	鉄 骨 造 4 階 建 ( 1 階一部倉庫 )	31.26	昭和56年10月14日
	ポンプ小屋	鉄 骨 造 平 屋 建	4.96	平成元年11月30日
	予防備品庫	プレハブ平屋建	5.81	平成 7 年 5 月31日
	災害備蓄庫	プレハブ平屋建	13.59	平成10年 2 月19日

建築面積合計・・・・・・・・・1,053.280 ㎡（その他の施設除く）

延べ面積・・・・・・・・・・1,689.584 ㎡

敷地面積・・・・・・・・・・3,720.840 ㎡

## 消防相互応援協定の状況

応援協定名	協 定 区 域	制 定 年 月 日
阪和林野火災 消防相互応援協定	岸和田市・貝塚市・泉佐野市 河内長野市・和泉市・泉南市 阪南市・岬町・並びに和歌山市 橋本市・岩出市・紀の川市 かつらぎ町・阪南岬消防組合 那賀消防組合及び伊都消防組合	平成18年4月1日 ( 改 正 )
橋本市・伊都郡 消防相互応援協定	橋本市・かつらぎ町・九度山町 高野町・伊都消防組合	平成18年3月1日 ( 改 正 )
那賀消防組合 伊都消防組合 消防相互応援協定	那賀消防組合・伊都消防組合	平成18年4月1日 ( 改 正 )
和泉市 伊都消防組合 消防相互応援協定	和泉市・伊都消防組合	昭和56年6月26日
美里町 野上美里消防組合 かつらぎ町 伊都消防組合 消防相互応援協定	美里町・野上美里消防組合 かつらぎ町・伊都消防組合	昭和57年4月1日
和歌山県防災ヘリ コプター応援協定	和歌山県並びに県下50市町村及び 県下8消防組合	平成8年2月22日
和歌山県下消防広域 相互応援協定	県下50市町村及び県下8消防組合	平成8年3月1日
和歌山県内における 自動車電話・携帯電話 からの119番通報 接続に関する協定	県下50市町村	平成10年9月1日

## 職員の階級別職員数と配置状況

(平成20年12月31日現在)

階級別 所属別		合計	消防吏員						
			消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
実数		52	1	1	8	17	24	1	0
消防本部	消防長	1	1						
	次長	1		1					
	総務課	5			2	1	2		
	予防課	4			2	1	1		
	警防課	3			1	1	1		
	小計	14	1	1	5	3	4		
消防署	署長	1(兼)		1					
	班長	2			2				
	副班長	2			1	1			
	庶務係	4				2	2		
	予防係	4				1	3		
	消防係	4				2	2		
	救急指導係	2				2			
	救急係	6				2	4		
	警防係	8				2	5	1	
	通信指令係	6				2	4		
	小計	39		1	3	14	20	1	
隊の編成	第1班消防隊	19			2	7	10		
	第2班消防隊	19			1	7	10	1	
	小計	38			3	14	20	1	

(兼) 消防本部次長が兼務しております。

## 職員の階級別年齢状況

(平成20年12月31日現在)

年 齢 ( 歳 )	階 級 計 (人)	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
		55歳以上	2	1	1			
51歳～54歳	3			3				
48歳～50歳	9			5	4			
45歳～47歳	13				13			
42歳～44歳	1					1		
39歳～41歳	2					2		
36歳～38歳	6					6		
33歳～35歳	7					7		
30歳～32歳	8					7	1	
27歳～29歳	1					1		
24歳～26歳								
21歳～23歳								
18歳～20歳								
合 計	52	1	1	8	17	24	1	
平均年齢	41.5	55.0	58.0	49.6	46.7	34.2	31.0	

## 職員の階級別勤続年数状況

(平成20年12月31日現在)

階級 勤続年数	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
25年以上	1	1	8	17				27
24年以上～25年未満								
23年以上～24年未満								
22年以上～23年未満								
21年以上～22年未満								
20年以上～21年未満					1			1
19年以上～20年未満								
18年以上～19年未満								
17年以上～18年未満					5			5
16年以上～17年未満								
15年以上～16年未満					5			5
14年以上～15年未満					3			3
13年以上～14年未満					4			4
12年以上～13年未満					3			3
11年以上～12年未満					3			3
10年以上～11年未満								
9年以上～10年未満								
8年以上～9年未満								
7年以上～8年未満								
6年以上～7年未満						1		1
5年以上～6年未満								
5年未満								
合計	1	1	8	17	24	1		52

## 職員の階級別各種免許資格取得状況

(平成20年12月31日現在)

階級 免許資格		消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計
自 動 車 運 転 免 許	大 型 種			5	9	8			22
	中 型 種					1			1
	普 通 種	1	1	8	18	24	1		53
	大 型 特 殊				2				2
	け ん 引 種				2				2
危険物取扱者(乙)				1	4	1			6
危険物取扱者(丙)						3			3
消防設備士(乙)					3				3
消防設備点検資格者( )				2	3	4			9
消防設備点検資格者( )				2	3	4			9
防火管理者				2	2	1			5
高圧ガス製造責任者				2	2	2			6
酸欠危険作業主任者				4					4
衛生管理者					1		1		2
潜水士					1				1
小型船舶2級操縦士		1		2	4				7
特殊無線技士(乙)		1		8	18	24	1		52
ガス溶接技能講習修了者				8	18	24			50
アーク溶接作業特別教育				1		1			2
足場の組立て等作業主任者				1	1				2
高所作業車運転技能						1			1
特殊建築物等調査資格者				1					1
特定化学物質等作業主任						2			2
救急救命士					4	4			8

職員の教養状況（5年間）

（平成20年12月31日現在）

区 分		年 別				
		平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
全国消防長会 東近畿支部	予防業務研究会	1	1	1	1	1
	警防業務研究会	1		1		1
	救急業務研究会		1		1	
	消防研究会		1	1	2	1
和歌山県消防学校	専科教育予防科	1			1	
	専科教育救助科	2		2		2
	専科教育警防科		2			
	専科教育特殊災害科		2			2
	予防科火災調査課程		2		2	
	救急救命士気管挿管講習	4	3			
	救急標準課程					
	幹部教育中級幹部科		2		2	
	幹部教育初級幹部科	2		2		2
	初任科教育					
県消防長会	特別巡回講習会	4	2	4	4	1
	業務別協議会					
消防大学校	上級幹部科教育			1		1
	救助科教育					1
その他	日本臨床救急医学会総会	1	1	1	1	1
	全国救急隊員シンポジウム	1	1	1	1	
	全国救助隊員シンポジウム					
	近畿救急隊員部会	7	8	3	4	6
	心電図モニター講習					
	救急救命士				1	1
	救急・災害医療研修会	2	3	2	3	1
	火災原因調査技術会議			1	1	2
	火災原因調査基礎講座	2	1			
	火災調査課程（神戸市）					
合 計（人）		28	30	20	24	23

## 市町別各種訓練指導等

### 1. 防火訓練〔防火対象物〕

市町別	年 月 日	防 火 対 象 物 名	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 1. 15	渋田小学校 (生徒・職員)	133人
		23 妙寺保育所 (園児・職員)	80人
		26 丹生都比売神社 (神社関係者他)	28人
	3. 12	丁ノ町保育所 (園児・職員)	139人
	5. 28	愛光園 (従業員他)	12人
	8. 28	和歌山県農業大学校 (職員他)	72人
	10. 15	築野食品工業(株) (従業員他)	86人
	12. 8	四郷小学校 (生徒・職員他)	28人
	10	妙寺小学校 (生徒・職員他)	354人
	19	新城小学校 (生徒・職員他)	11人
橋本市 高野口町区域	平成 20. 1. 16	和歌山県立きのかわ支援学校 (職員他)	235人
	2. 15	伊都高等学校 (生徒・職員)	357人
	25	橋本市高野口デイサービスセンター (従業員他)	5人
	6. 2	和歌山県立きのかわ支援学校 (職員他)	280人
	27	伊藤病院 (従業員他)	21人
	7. 30	さくら苑 (従業員他)	32人
	10. 27	高野口幼稚園 (園児・職員)	37人
	11. 20	つくしんぼ学園 (従業員他)	25人
	12. 15	応其小学校 (生徒・職員他)	459人
	九度山町	平成 20. 1. 20	丹生官省符神社・慈尊院 (社寺関係者他)
10. 3		九度山中学校 (生徒・職員)	125人

## 2. 防火訓練〔地域〕

市町別	年 月 日	地 区 名 等	参集人員
かつらぎ町	平成		
	20.	1. 20 萩原地区自主防災組織	23人
		2. 10 妙寺11・12町内会	63人
		13 高田地区住民	36人
		27 笠田東婦人学級	7人
	4.	27 妙寺広垣内地区住民	58人
	6.	1 中飯降乾地区住民	40人
		24 妙寺高齢者学級	51人
	7.	12 妙寺1町内会	23人
	8.	31 妙寺地区住民	970人
	9.	14 上花園住民	21人
12.	7 妙寺団地地区住民	50人	
		山崎地区住民	52人
橋本市 高野口町区域	平成		
	20.	2. 3 伏原地区住民	32人
		17 向島地区住民	135人
	3.	29 大野地区住民	48人
	6.	17 伊都・高野山ライオンズクラブ	15人
		20 ボーイスカウト伊都第5団	18人
	7.	28 橋本市高野口町商工会青年部	15人
	10.	19 ベルビュー橋本住民	80人
11.	9 向島自主防災役員・住民	259人	
九度山町	平成		
	20.	1. 20 慈尊院地区住民	20人
	4. 6 丹生川・市平地区住民	40人	

## 3. 普通救命講習

市町別	年 月 日	団 体 名	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 9. 7	救急医療週間に伴う一般公募 5名・17名	22人
橋本市 高野口町区域	平成		
	20.	9. 13 橋本市消防団高野口方面隊	10人
		14 橋本市消防団高野口方面隊	12人
		21 橋本市消防団高野口方面隊	27人
		28 橋本市消防団高野口方面隊	25人
	10.	5 橋本市消防団高野口方面隊	38人
		11 橋本市消防団高野口方面隊	25人
		12 橋本市消防団高野口方面隊	13人
		19 橋本市消防団高野口方面隊	29人
		26 橋本市消防団高野口方面隊	24人
	11.	2 橋本市消防団高野口方面隊	20人
	9 橋本市消防団高野口方面隊	14人	

4. 救急講習会  
〔かつらぎ町〕

市町別	年 月 日	学 校 名 及 び 団 体 名	参集人員
かつらぎ町	平成		
	20. 1. 16	国土交通省関係機関 ( 応急手当 )	20 人
	21	紀伊高原 G C 従業員 ( CPR・AED )	30 人
	28	紀伊高原 G C 従業員 ( CPR・AED )	30 人
		紀伊高原 G C ( 想定訓練 )	34 人
	2. 6	かつらぎ乃里職員 ( CPR・AED )	14 人
	12	笠田高校一年生 ( CPR・AED )	42 人
		笠田高校一年生 ( CPR・AED )	41 人
	14	笠田高校一年生 ( CPR・AED )	44 人
		笠田高校一年生 ( CPR・AED )	39 人
	15	笠田高校一年生 ( CPR・AED )	39 人
	22	築野食品従業員 ( CPR・AED )	42 人
	3. 13	農業大学学生 ( CPR・AED・応急手当 )	27 人
	14	築野食品従業員 ( CPR・AED )	30 人
	23	上級リーダー講習 ( AED・応急手当・他 )	32 人
	26	築野食品従業員 ( CPR・AED )	34 人
	5. 18	三谷小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	31 人
	26	よつ葉福祉会職員 ( CPR・AED )	10 人
	6. 1	新城小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	12 人
	6	四郷小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	12 人
	17	紀の川高校職員 ( CPR・AED )	27 人
	20	かつらぎ町内保育士 ( CPR・AED )	22 人
	26	かつらぎ町育児サークル会員 ( 応急手当 )	30 人
	28	天野小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	14 人
	7. 1	笠田小学校・幼稚園・職員・保護者 ( CPR・AED )	29 人
	2	大谷小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	30 人
	3	妙寺幼稚園保護者 ( CPR・AED )	29 人
	4	花園中・幼稚園・梁瀬小職員・保護者 ( CPR・AED )	9 人
	7	笠田中学校 2 年生 ( CPR・AED )	36 人
	8	笠田中学校 2 年生 ( CPR・AED )	32 人
	9	四邑小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	21 人
	10	洪田小学校・幼稚園職員・保護者 ( CPR・AED )	20 人
	11	妙寺小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	23 人
	16	聖心幼稚園職員・保護者 ( CPR・AED )	13 人
	18	志賀小学校職員・保護者 ( CPR・AED )	9 人
	23	きんでん紀北営業所従業員 ( CPR・AED )	46 人
	8. 30	和歌山県手話通訳会員 ( CPR・AED )	40 人
	9. 4	笠田小学校 5・6 年生 ( 着衣泳法等 )	82 人
	12	かつらぎ町民生児童委員 ( AED・応急手当・他 )	54 人
	26	妙寺中学校 3 年生・職員 ( CPR・AED )	32 人
	29	妙寺中学校 3 年生・職員 ( CPR・AED )	32 人
	30	妙寺中学校 3 年生・職員 ( CPR・AED )	33 人
10. 10	紀北農芸高校職員 ( CPR・AED )	27 人	
23	紀の川高校生徒 ( CPR・AED )	40 人	

## 〔かつらぎ町〕

市町別	年月日	学校名及び団体名	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 11. 20	中佐野自主防災組織 (CPR・AED)	26人
	30	花園支所職員・患者輸送業務委託者 (CPR・AED)	14人
	12. 14	ソフトボール競技指導者 (CPR・AED・応急手当)	36人

## 〔橋本市高野口町〕

市町別	年月日	学校名及び団体名	参集人員
橋本市 高野口町区域	平成 20. 3. 18	悠久の杜職員 (AED・応急手当)	25人
	5. 16	つくしんぼ園職員 (CPR・AED・他)	11人
	6. 9	きのかわ支援学校高等部職員 (CPR・AED)	20人
	16	きのかわ支援学校小学部職員 (CPR・AED)	27人
	18	高野口小学校職員・保護者 (CPR・AED)	26人
	23	きのかわ支援学校中学部職員 (CPR・AED)	17人
	25	応其小学校職員・保護者 (CPR・AED)	27人
	27	信太小学校職員・保護者・小学生 (CPR・AED)	27人
	7. 27	小田地区住民 (AED・応急手当)	52人
	30	伊都高校職員 (CPR・AED)	25人
	31	伊都・橋本学校給食調理員・栄養士 (CPR・AED)	43人
	8. 4	きのかわ支援学校バス介助員 (CPR・AED)	7人
		きのかわ支援学校職員 (水難救助法)	68人
	24	高野口町内小学校保護者・行政職員 (CPR・AED)	17人
	10. 30	乳児を持つ保護者 (CPR・AED)	11人
11. 23	伏原地区住民 (CPR・AED)	24人	

## 〔九度山町〕

市町別	年月日	学校名及び団体名	参集人員
九度山町	平成 20. 2. 19	萩原内科職員 (CPR・AED)	9人
	6. 21	九度山小学校職員・保護者 (CPR・AED)	42人
	26	古沢小学校職員・保護者 (CPR・AED)	10人
	7. 5	九度山保育所職員 (CPR・AED)	11人
	13	(九)町民プール監視員・(九)町職員 (CPR・AED)	10人
	14	河根中・小・幼職員・保護者・中学生 (CPR・AED)	31人
	10. 3	九度山中学校3年生・職員 (CPR・AED)	30人

## 5. 消防団訓練指導

市町別	年月日	消防分団及び消防団員	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 3. 2	第1・2・3・4分団員（ホース延長・中継放水訓練）	140人
	6. 1	新入団員（礼式・ホース延長訓練）	20人
	9. 24	第6分団員（礼式訓練）	46人
	11. 9	第5・6・7・8分団員（ホース延長・中継放水訓練）	150人
	28	第5・6・7・8分団員 部長以上（上記反省会）	33人

## 6. 施設見学

市町別	年月日	学校名及び団体名	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 4. 22	丁ノ町保育所（園児・職員）	42人
	25	大谷小学校（3・4年生）	28人
	5. 23	妙寺保育所（4・5歳児）	49人
		佐野育児サークル（園児・職員）	62人
	6. 19	（か）南山小学校3・4年生（3・4年生）	27人
	7. 15	妙寺小学校（4年生）	62人
	9. 9	洪田小学校（4年生）	17人
	10. 3	ボランティア会員（会員）	33人
	8	三谷小学校（4年生）	7人
	16	妙寺小学校（2年生）	14人
	17	中部保育所（園児・職員）	18人
	11. 18	大谷幼稚園（園児・職員）	10人
	25	妙寺くまの子教室（園児・職員）	17人
橋本市 高野口町区域	平成 20. 2. 27	信太保育所（園児・職員）	19人
	5. 1	応其小学校（4年生）	70人
	7	高野口小学校（4年生）	57人
	12	香久の実保育園（園児・職員）	35人
	10. 28	信太小学校（4年生）	9人
	12. 21	カブスカウト伊都第5団（会員他）	19人
九度山町	平成 20. 10. 2	古沢小学校（4年生）	5人
	30	九度山小学校（3・4年生）	64人

## 7. 婦人防火クラブ

市町別	年月日	婦人防火クラブ名及び内容	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 7. 2	平婦人防火クラブ (連絡協議会)	2人
橋本市 高野口町区域	平成 20. 3. 28	田原婦人防火クラブ (CPR・AED)	17人
	5. 16	田原婦人防火クラブ (講話・ロープ結索)	19人
九度山町	平成 20. 8. 8	上古沢婦人防火クラブ (CPR)	6人
	12. 13	下古沢婦人防火クラブ (講話・応急手当・庁舎見学)	7人

## 8. 幼年消防クラブ

〔かつらぎ町〕

市町別	年月日	幼年消防クラブ名及び内容	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 5. 27	花園幼稚園 (避難訓練・映画他)	11人
	6. 10	妙寺保育所 (避難訓練・映画他)	116人
	17	四郷保育所 (避難訓練・映画他)	28人
	18	丁ノ町保育所 (避難訓練・映画他)	91人
	19	中部保育所 (避難訓練・映画他)	58人
	20	中飯降保育所 (避難訓練・映画他)	34人
	24	渋田保育所 (避難訓練・映画他)	48人
	25	笠田保育所 (避難訓練・映画他)	60人
	11. 4	中飯降保育所 (防火パレード)	45人
	5	丁ノ町保育所 (防火パレード)	80人
	6	笠田保育所 (防火パレード)	60人
	7	四郷保育所 (防火パレード)	29人
	11	中部保育所 (防火パレード)	34人
	12	渋田保育所 (防火パレード)	50人
	13	妙寺保育所 (防火パレード)	64人
	14	花園幼稚園 (防火パレード)	13人

〔橋本市高野口町区域〕

市町別	年月日	幼年消防クラブ名及び内容	参集人員
橋本市 高野口町区域	平成 20. 5. 13	高野口保育園 (避難訓練・映画他)	43人
	15	向島保育園 (避難訓練・映画他)	36人
	20	大野保育園 (避難訓練・映画他)	25人
	21	信太保育園 (避難訓練・映画他)	16人
	23	伏原保育園 (避難訓練・映画他)	45人
	26	香久の実保育園 (避難訓練・映画他)	71人
	6. 3	名古曾保育園 (避難訓練・映画他)	103人

## 〔橋本市高野口町区域〕

市町別	年月日	幼年消防クラブ名及び内容	参集人員
橋本市 高野口町区域	平成 20. 11. 6	伏原保育園 (防火パレード)	69人
	7	信太保育園 (防火パレード)	23人
	10	香久の実保育園 (防火パレード)	67人
		大野保育園 (防火パレード)	35人
	11	名古屋保育園 (防火パレード)	99人
	12	向島保育園 (防火パレード)	42人
	13	高野口保育園 (防火パレード)	47人

## 〔九度山町〕

市町別	年月日	幼年消防クラブ名及び内容	参集人員
九度山町	平成 20. 6. 6	九度山幼稚園 (避難訓練・映画他)	46人
	12	河根幼稚園 (避難訓練・映画他)	5人
	11. 4	九度山幼稚園 (防火パレード)	53人
	5	河根幼稚園 (防火パレード)	13人

## 9. 少年消防クラブ・子供会年末夜警

市町別	年月日	少年消防クラブ名及び子供会名	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 12. 20	三谷子供会 (東明会)	9人
	27	三谷子供会 (あけぼの会)	24人
		広野子供会	14人
	28	教良寺子供会 10人 広野子供会 14人	24人
		兄井子供会少年消防クラブ 20人 寺尾子供会 14人	34人
	29	兄井子供会少年消防クラブ 18人 広野子供会 14人	32人
		山崎子供会	11人
	30	三谷子供会 (双葉会) 13人 広野子供会 14人 西飯降子供会少年消防クラブ	27人 29人
橋本市 高野口町区域	平成 20. 12. 26	大野子供会	24人

## 10. その他

市町別	年月日	学校名及びイベント名	参集人員
かつらぎ町	平成 20. 11. 3	かつらぎ町産業祭り (車両展示・化学車試乗他)	500人

構成市町各種訓練指導等集計表

区 分		かつらぎ町	橋本市 高野口町区域	九度山町	合 計
防 火 訓 練 〔防火対象物・地域〕	回 数(回)	19	17	4	40
	参加人員(人)	2,337	2,053	245	4,635
普 通 救 命 講 習	回 数(回)	1	11	0	12
	参加人員(人)	22	237	0	259
救 急 講 習 会	回 数(回)	46	16	7	69
	参加人員(人)	1,369	427	143	1,939
消 防 団 訓 練	回 数(回)	5	0	0	5
	参加人員(人)	389	0	0	389
施 設 見 学	回 数(回)	13	6	2	21
	参加人員(人)	386	209	69	664
婦人防火クラブ	回 数(回)	1	2	2	5
	参加人員(人)	2	36	13	51
幼年消防クラブ	回 数(回)	16	14	4	34
	参加人員(人)	821	721	117	1,659
少年消防・子供会 年 末 夜 警	回 数(回)	13	1	0	14
	参加人員(人)	204	24	0	228
そ の 他	回 数(回)	1	0	0	1
	参加人員(人)	500	0	0	500
合 計	回 数(回)	115	67	19	201
	参加人員(人)	6,030	3,707	587	10,324

## 管内消防水利の状況

区分 市町別	防火水槽			消火栓			プール	合計
	40 m <sup>3</sup> 以上 100 m <sup>3</sup>	40 m <sup>3</sup> 未満	その他	50 mm ~ 125 mm	150 mm ~ 400 mm	その他		
かつらぎ町	132	47	1	411	109	77	15	792
橋本市 高野口町区域	89	23	0	477	119	0	2	710
九度山町	36	10	0	182	40	2	4	274
合計	257	80	1	1,070	268	79	21	1,776

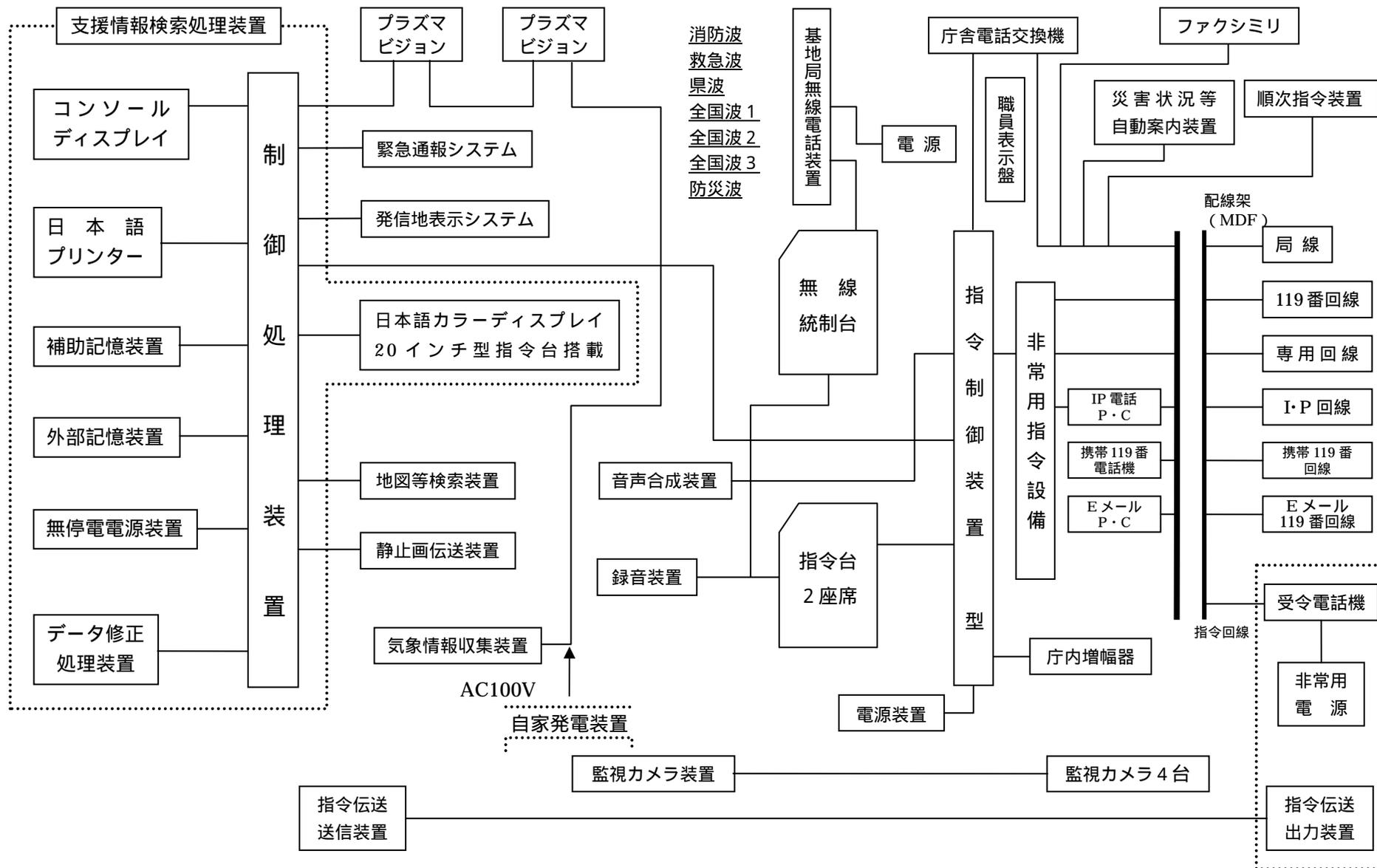
## 消 防 施 設

今日までに通信指令システムや災害対応特殊救急自動車の導入、また防災センターの設置など消防施設等各般にわたり充実・強化を図って参りました。しかし近い将来、東南海・南海地震等の発生の恐れが指摘されています。このような状況下の中、災害等から住民の生命、身体及び財産を守るという消防の責務はますます大きなものとなってきています。

今後とも、起こりうる災害における被害の軽減を目指す為、各般の整備・強化を積極的に取り組み住民が安心して生活できるよう努力、邁進する所存です。



# 消防緊急通信指令施設系統図



## 通信施設の現況

### 1. 無線電話

周波数	区分 局別	出力	本部 署	消 防 団			合 計	
				かつらぎ町	橋本市 高野口方面隊	九度山町		
消防波 救急波 (本部) (救急車) 県内共通波 全国共通波 1 全国共通波 2 全国共通波 3 防災波	(MHz) 149.73	基地局	10W	2	1		3	
	146.80	移動局	10W	11	11	20	6	48
	148.20	携帯	5 W	4	6	7	4	21
	148.21							
	150.73	移動局	1 W	12	20	1	11	44
	148.75	合 計			29	38	28	21
154.15								
158.35								

### 2. 有線電話

種 別	回線数	局線数	備 考
1 119 報知回線	4		ISDN
2 救急医療情報システム	1		アナログ
3 ファクシミリ	2		ISDN
4 一般加入回線	6		ISDN
5 官公庁・消防専用連絡		3	専用回線
6 消防専用遠隔制御		7	専用回線
7 IP 等 119 回線	4		ISDN
8 携帯 119 直接回線	4		ISDN
9 事務用インターネット	2		ひかり
10 指令室業務用	8		ISDN
11 衛星バックアップ	1		着信専用
12 緊急通報	3		発信アナログ・受信 ISDN
13 農協有線	2		かつらぎ町

## 消防車両等の保有現況

	種 別	愛 称	車 名	形 式	年式	級別	無線局呼出名称
消 防 本 部 署	指令車		トヨタハイラックス	GF-RZN185W	H.11		いとしょう1
	ポンプ車	はやぶさ号	三菱シキナー	U-FG337C 改	H. 3	A-1	いとしょう2
	タンク車		いすゞフォワード L210	KC-FRR33G4V 改	H.10	A-2	いとしょう3
	搬送車		いすゞエルフ 150	U-NHS69EA 改	H. 7		いとしょう4
	化学車	白鳥号	いすゞフォワード	K-SDR370 改	S.57	A-2	いとしょう5
	予防査察車		ホンダ アクティバ	GD-HH6	H.13		いとしょう6
	可搬積載車		ホンダ アクティ	V-HA4	H.11	B-3	いとしょう7
	高規格救急車 8		トヨタハイメック	C B F - T R H226 S	H.20		いとしょう8
	高規格救急車 9		トヨタハイメック	GB-VCH38S	H.15		いとしょう9
	救急予備車 201		トヨタハイメック	GB-VCH32S	H.10		いとしょう201
	救助工作車		いすゞフォワード L195	U-FRR320BV 改	H. 3		いとしょう91
	公用車		トヨタカデッテ	E-ST190G	H. 5		
	防火号		いすゞファゴ	T-WFR12FV 改	H. 7		
	単車		ホンダ スーパーカブ	C-50 型	S.57		

# 消防用機械器具保有状況

	器具名	数量		器具名	数量
消 火 作 業 器 具	高発砲管銃一式	1	救 助 用 器 具	舟外機	1
	高発砲管(400)	2		アルミ製折畳式救命ボート	1
	発砲管銃	2		救命ゴムボート	1
	ロータリー管銃	1		エアーマイティ(12t・31t)	各 1
	TG管銃(50mm)	4		ベンケイ	5
	プロジェクトガン	2		落下傘式安全带	5
	空気呼吸器	23		空気式救助マット	1
	空気呼吸器ボンベ8	31		バスケット担架	2
	酸素呼吸器	2		RS担架	1
	アルミ合金製三連梯子	1		滑車	16
	鋼管製三連梯子	3		大型油圧式スプレッター	1
	かぎ付き梯子(チタン・鋼管)	各 1		大型油圧式ラムシリンダー	1
	ラインプロポーション	2		〃 カッター・ハンドポンプ	各 1
	発電機	8		ポートパワー式	1
	投光機	7		アクアラング式	6
	防火用サルベージシート	6		アクアラングボンベ12	8
	クリッパー	6		救命浮環	7
	ハンドマイク	9		救命胴衣	16
	可燃性ガス検知器	1		水中ライト	3
	懐中電灯	22		救命索発射銃	1
泡原液	1,260	アセチレンガス切断機一式	1		
耐熱服	2	エンジンカッター	2		
ホースバック	36	エアソー	1		
背負器	5	チルホール	2		
水槽バック(500)	2	張力計	2		
放水銃座	2	防護服	5		
ホース(65mm)	184	特殊防護マスク	11		
ホース(50mm)	125	EC工具セット	1		
ホース(40mm)	15	エアバッグセイフティー	1		
鉄蓋ジャッキ	1				
可搬式小型ポンプ(B-)	1	コンプレッサー	1		
可搬式小型ポンプ(D-)	1	静水圧計	1		
山 林 火 災 水 防 用 具	フォーレスター一式	1	そ の 他	集会用テント	1
	ジェットシューター	16		ストップウォッチ	3
	チェーンソー	3		コンパス測量器一式	1
	手おの	3		体力測定用器具一式	1
	防火用具セット	5		インパクトレンチ一式	1
	水筒	15		トランシーバー	2
	土のう袋	1,400		空気充填コンプレッサー	1
	杭	200		訓練用消火器	17
	スコップ	12		煙体験ハウス	1
	掛矢	7		スモークマシーン	1
	ハンマー(大)	1		液晶プロジェクター	1
	じょれん	8		天ぷら油火災消火実験一式	1
	ツルハシ	8		実体顕微鏡	1
ナワ	4	カメラ	3		
災 害 用 器 具	スコップ	10	デジタルカメラ	7	
	ツルハシ	10	ビデオ式	2	
	パール	10	原因調査用具一式	1	
	ハンマー(大)	10	バッテリー充電器	1	
	斧	10	バイス	1	
	じょれん	10	グラインダー	1	
	ノコギリ	10	ガレージジャッキ	1	
	防塵マスク	5	草薙機	2	
	防塵メガネ	5	交流アーク溶接機	1	
	背負い	2	KTC工具一式	1	

## 機関運用状況

種別	ポンプ車			タンク車			化学車			救助工作車		可搬積載車		指令車	
	回数	走行距離 (km)	放水 時間	回数	走行距離 (km)	放水 時間	回数	走行距離 (km)	放水 時間	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)
火災 救急	22	242	4:52	21	234	7:09	1	2				9	183	6	111
救助	2	23		18	176					23	260	1	23	1	45
支援	75	641		14	90					1	6	3	20	6	99
広報	16	625										16	795	4	397
地水利調査	22	366		1	10							20	405		
訓練	29	193	0:59	29	35	2:46	5	20	0:25	8	1	2	1	7	61
その他		1345	0:13		549	2:15		107	1:08		237		341		2580
合計		3435	6:04		1094	12:10		129	1:33		504		1768		3293

種別	搬送車		高規格救急車 8		高規格救急車 9		救急予備車 201		予防査察車		防火号		公用車		単車	
	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)	回数	走行距離 (km)
火災 救急	8	114							4	48						
救助	6	146		203	6	34	5	57	4	90						
支援	1	22			1	5	1	6	54	778						
広報									6	325						
地水利調査																
訓練	11	49	1	36	1	1	5	48	9	67	8	76				
その他		286		781		63		111		4012		3389		9466		68
合計		617		26472		12881		2425		5320		3465		9466		68

# 火 災 の 予 防

## 平成 2 0 年中の重点項目

- ・ 特定防火対象物の違反是正指導及び消防訓練の実施指導
- ・ 危険物施設等の指導強化
- ・ 住宅用火災警報器の普及啓発指導
- ・ 防火管理者選解任及び消防計画変更届出の提出指導
- ・ カラオケボックス店等に係る防火安全対策の徹底に伴う査察の実施
- ・ 防火啓発（広報誌・車両・防火パレード等）
- ・ 春・秋季火災予防運動
- ・ 年末火災特別警戒
- ・ 小規模社会福祉施設等へのスプリンクラー設備等の設置指導
- ・ 防火対象物定期点検報告の実施及び特例認定申請の指導

## 平成 2 0 年中の実施事項

- ・ 防火対象物台帳の作成（ 1 4 件）
- ・ 危険物施設台帳の作成（ 9 件）
- ・ 予防査察（ 8 5 件〔重要文化財査察 1 2 件含む〕）
- ・ 予防調査（消防対象物 7 5 件・危険物関係 7 件）
- ・ 危険物輸送車両の立入検査（移動タンク 4 5 台・運搬車両 6 台）
- ・ 車両防火検査（ミニローリー 4 6 台）
- ・ 伊都消防組合防火標語募集（小学校 5 年生 346 点）
- ・ 伊都消防組合防火ポスター募集（小学校 4 年生 297 点）
- ・ 各事業所における防火訓練指導（ 2 0 件）
- ・ 幼年消防クラブ防火パレード（ 1 7 団体）

市町別防火対象物台帳数・中高層建築物数及び防火管理者選任・消防計画届出数

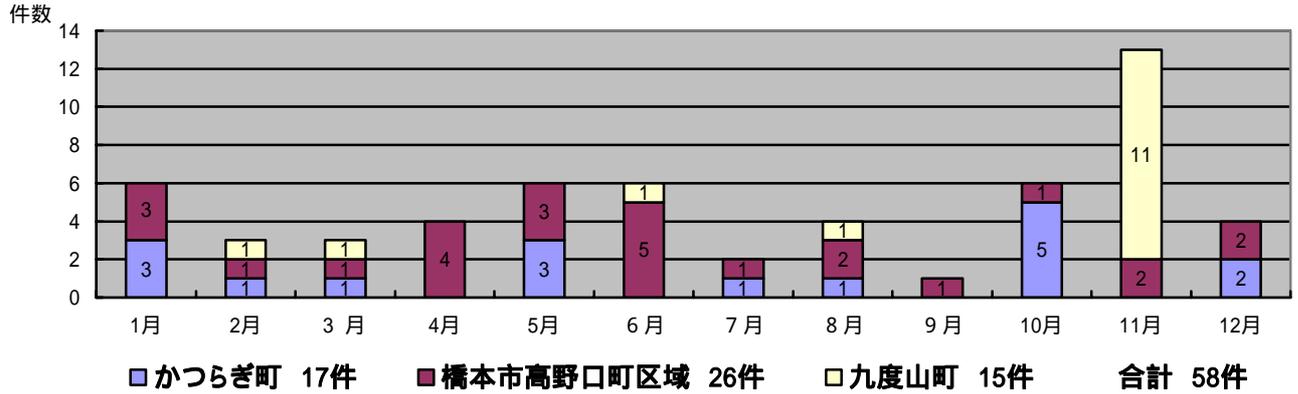
(平成20年12月末現在)

		防火対象物台帳数	中高層建築物(4階以上)				防火管理者選任義務事業所数				防火管理者選任消防計画届出数							
			かつらぎ	高野口	九度山	合計	かつらぎ	高野口	九度山	合計	かつらぎ	高野口	九度山	合計				
1	イ	劇場・映画館・演芸場																
	□	公会堂・集会場	45	18	10	73				14	5		19	14	5		19	
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等																
	□	遊技場又はダンスホール		2		2				2		2		2		2		
3	イ	待合・料理店等																
	□	飲食店	17	9		26				13	8		21	13	8		21	
4		百貨店・マーケット等	21	24	2	47				14	16		30	14	16		30	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	13	1	2	16				11		1	12	11		1	12	
	□	寄宿舎・下宿・共同住宅	41	47	12	100	3	3		6	2	2	6	2	2	2	6	
6	イ	病院・診療所・助産所	5	10	2	17				3	6	1	10	3	6	1	10	
	□	保育所・老人福祉施設等	15	16	3	34	1		1	15	15	2	32	15	15	2	32	
	ハ	幼稚園・養護学校等	6	2	2	10				5	2		7	5	2		7	
7		小中学校・高校・大学等	17	5	6	28	2		2	11	4	2	17	11	4	2	17	
8		図書館・美術館等	1	1	2	4				1			1	1			1	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場																
	□	イ以外の公衆浴場		1		1												
10		車両の停車場等		1	1	2												
11		神社・寺院・教会等	10	12	4	26				3	4	2	9	3	4	2	9	
12	イ	工場・作業場	174	313	38	525	5		5	12	4	1	17	12	4	1	17	
	□	映画スタジオ・テレビスタジオ																
13	イ	自動車車庫・駐車場	17	24		41												
	□	飛行機等の格納庫																
14		倉庫	67	82	6	155												
15		前各項に該当しない事業所	55	49	19	123	1	3	1	5	17	10	4	31	17	10	4	31
16	イ	特定用途を有する複合対象物	50	34	13	97	4		1	5	29	17	7	53	29	17	7	53
	□	上記以外の複合対象物	21	28	1	50			1	1	4	2		6	4	2		6
17		重要文化財	8	1	4	13					1		1		1		1	
合計			583	680	127	1,390	16	6	3	25	154	98	22	274	154	98	22	274

■ は、特定用途防火対象物。

高野口とは橋本市高野口町区域分となっております。

## 市町別月別建築同意件数（平成 20 年 1 月～12 月）



## 市町別消防法及び火災予防条例に基づく届出状況

（平成 20 年 1 月～12 月）

区 分	市 町 別			合計
	かつらぎ町	橋 本 市 高野口町区域	九度山町	
消防用設備等着工届出書	5	24		29
消防用設備等設置届出書	18	33	1	52
防火管理者選任（解任）届出書	33	24	5	62
消防計画作成（変更）届出書	35	27	5	67
消防用設備等点検結果報告書	149	65	23	237
防火対象物点検結果報告書	17	5		22
圧縮ガス等の貯蔵又は取扱いの開始（廃止）届出	2			2
防火対象物使用開始届出書	9	14		23
炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー・乾燥設備・給湯湯沸設備・ やか設備・ヒートポンプ暖房機火花を生ずる設備・放電加工機届出	3	1		4
変電・発電・蓄電池設備設置届出書	6	4		10
ネオン管灯設備設置届出書				
水素ガスを充てんする気球の設置届	1			1
火災とまぎらわしい煙又は火炎を発するおそれのある行為の届出	68	6	7	81
煙火打上げ仕掛け届出	6	2	1	9
催物開催届出		2		2
水道断水減水届出				
道路工事占用届出	73	74	25	172
露店開設届出				
指定洞道等届出（新規・変更）				
少量危険物・指定可燃物 貯蔵・取扱い届出	7	2		9
少量危険物・指定可燃物 貯蔵・取扱い廃止届出	3	3		6
裸火等使用承認申請	4	1		5
少量危険物等タンク水張・水圧検査申請				
防火管理に関する講習課程修了証明願等		3		3

## 市町別危険物施設の状況

〔完成検査済証交付施設〕

(平成20年12月末現在)

市町別 製造所等の別		かつらぎ町	橋本市 高野口町区域	九度山町	合計
製造所		9			9
貯蔵所	屋内貯蔵所	6	3	2	11
	屋外貯蔵所	1			1
	屋外タンク貯蔵所	42	17		59
	屋内タンク貯蔵所	5	7		12
	地下タンク貯蔵所	15	7	1	23
	簡易タンク貯蔵所	1		1	2
	移動タンク貯蔵所	31	17		48
	小計	101	51	4	156
取扱所	給油取扱所	25	10	3	38
	第一種販売取扱所	1			1
	第二種販売取扱所				
	一般取扱所	24	4	4	32
	小計	50	14	7	71
合計		160	65	11	236

## 倍数別危険物施設一覧表

〔完成検査済証交付施設〕

(平成20年12月末現在)

区分 倍数別	製造所	屋内貯蔵所	屋外貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	給油取扱所	販売取扱所	一般取扱所	自家給油取扱所	合計
	5倍以下		6		18	4	10	2	31	2		9	1
5倍を超え 10倍以下	1	1		6	7	5			2	1	11	3	37
10倍を超え 50倍以下	3	2	1	26	1	8		17	2		10	5	75
50倍を超え 100倍以下	2			8					8		1	1	20
100倍を超え 150倍以下		2		1					5			1	9
150倍を超え 200倍以下	1								4				5
200倍を超え 500倍以下	1								3		1		5
500倍を超えるもの	1								1				2
合計	9	11	1	59	12	23	2	48	27	1	32	11	236

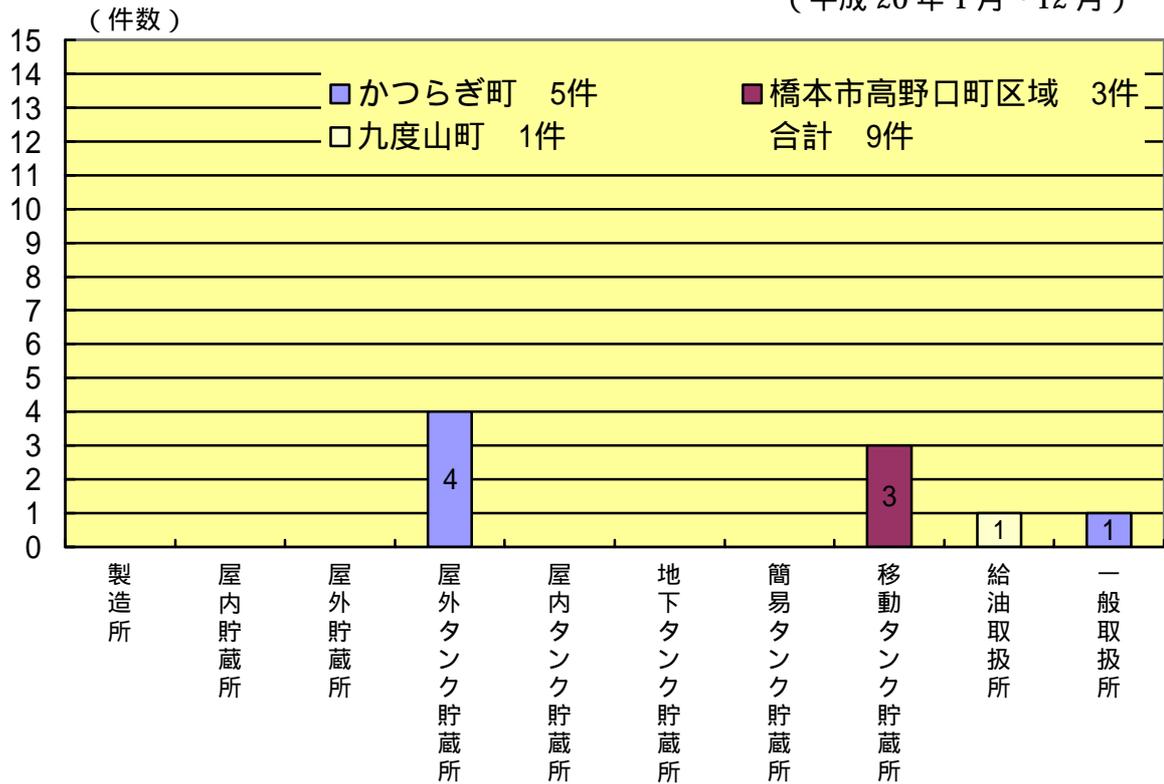
# 市町別危険物施設許可件数及び完成検査件数

(平成20年1月～12月)

市町別許可及び 完成検査数 危険物施設名		危険物施設許可件数				危険物施設完成検査件数			
		かつらぎ町	橋本市 高野口町区域	九度山町	合計	かつらぎ町	橋本市 高野口町区域	九度山町	合計
製造所	設置								
	変更	6			6	5			5
屋内貯蔵所	設置								
	変更								
屋外貯蔵所	設置								
	変更								
屋外タンク貯蔵所	設置	4			4	4			4
	変更	3			3	3			3
屋内タンク貯蔵所	設置								
	変更								
地下タンク貯蔵所	設置								
	変更								
簡易タンク貯蔵所	設置								
	変更								
移動タンク貯蔵所	設置		3		3		3		3
	変更								
給油取扱所	設置			1	1			1	1
	変更								
第一種販売取扱所 第二種販売取扱所	設置								
	変更								
一般取扱所	設置	1			1	1			1
	変更	2			2	2			2
合計	設置	5	3	1	9	5	3	1	9
	変更	11			11	10			10

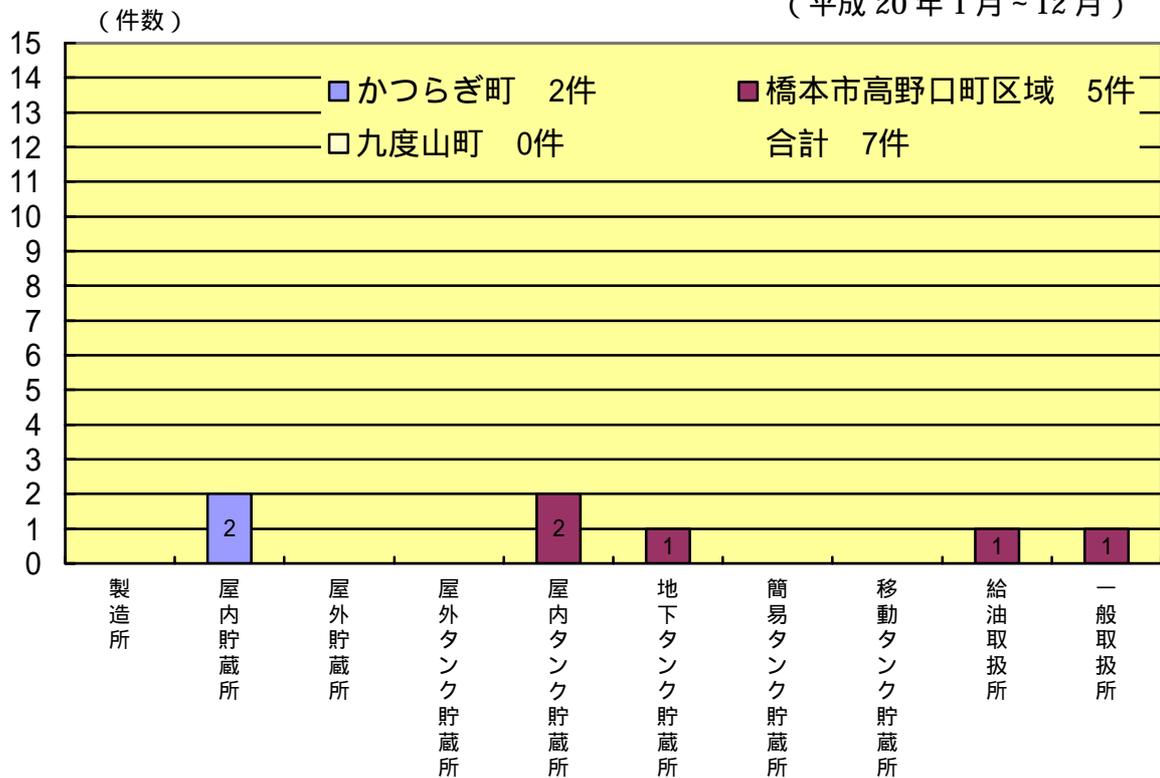
## 市町別危険物施設設置許可件数

(平成 20 年 1 月 ~ 12 月)



## 市町別危険物施設廃止件数

(平成 20 年 1 月 ~ 12 月)



## 市町別危険物等各種申請及び届出件数

(平成20年1月～12月)

区分 市町別	設置許可申請書	変更許可申請書	仮使用承認申請書	完成検査申請書	仮貯蔵・仮取扱申請書	完成検査前検査申請書	予防規程制定・変更認可申請書	品名・数量又は倍数変更届出書	廃止届出書	保安監督者選任・解任届出書	譲渡引渡届出書	改修計画報告書	軽微な変更届出書	火気使用工事届出書	所有者の住所・氏名・変更届出書	移動タンク変更許可通知書	完成検査済証再交付申請書	許可申請等取下げ願	危険物以外の物品の貯蔵届出書	合計
	かつらぎ町	5	11	10	14	2	8			2	14			2		2				1
橋本市 高野口町区域	3			3					5		9		2					1		23
九度山町	1			1						1			1			1				5
合計	9	11	10	18	2	8			7	15	9		5		2	1		1	1	99

## 防火広報等

(平成20年1月～12月)

広報内容 回数 時間	火災気象通報広報	文化財防火デー広報	春の火災予防運動広報	秋の火災予防運動広報	年末特別警戒広報	火災後の警戒巡視	風水害による広報	その他	合計
回数	1	3	13	12	12	6	1	8	56
時間	2	4	34	29	30	2	1	12	114

## 火 災 統 計

平成20年中の火災件数は20件であり、前年に比べ1件減少しています。

火災種別でみると、建物火災が8件と全体の半数近くをしめており、次いでその他火災6件、林野火災と車両火災が、それぞれ3件となっています。

建物火災8件の内訳は、住宅3件、倉庫が2件、工場・作業場・店舗がそれぞれ1件であり、焼損棟数については、全焼2棟、半焼1棟、部分焼2棟、ぼや3棟となっています。

続いて、構成市町別に件数をみると、かつらぎ町9件、九度山町6件、橋本市高野口町5件でありました。また、火災による死傷者は5名発生しています。

出火原因別では、焚き火によるものが4件、ストーブ・電気装置によるものがそれぞれ2件、放火の疑い・こんろ・火花・溶接機・煙突・落雷によるものがそれぞれ1件、その他が3件、不明が3件となっています。

「ちょっとした不注意による火災」が、年々増加の傾向です。火災件数0という目標達成には、住民に対する防火指導や火災予防対策をきめ細かく実施し、火災の発生を未然に防止するようあらゆる機会において、積極的に取り組んでいく必要があると考えます。



# 火災概況

〔火災一覧表及び火災報告綴りから抜粋〕

( は減 )

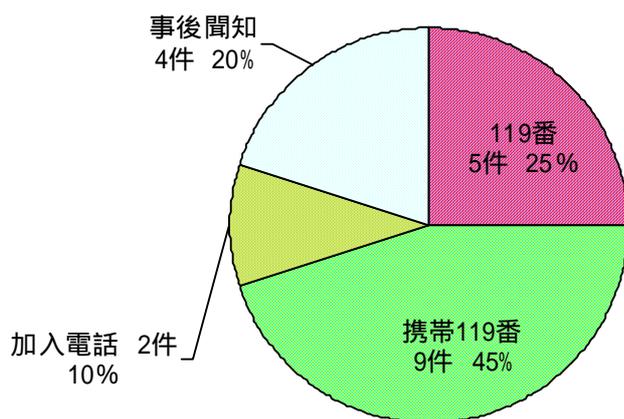
年 別		単 位	A 平成 20 年	B 平成 19 年	C 増減 (A - B)	
件 数						
合 計	出 火 件 数	件	20	21	1	
	損 害 額	千円	11,798	90,705	78,907	
	建 物 焼 損 床 面 積	m <sup>2</sup>	263	1,650	1387	
	建 物 焼 損 表 面 積	m <sup>2</sup>	2	133	131	
	林 野 焼 損 面 積	a	17	8	9	
	死 者 及 び 負 傷 者	人	死 者 負 傷 者 0 5	死 者 負 傷 者 1 7	死 者 負 傷 者 1 2	
建 物 火 災	件 数	件	8	16	8	
	内 訳	全 焼	件	2	5	3
		半 焼	件	1	1	0
		部 分 焼	件	2	4	2
		ぼ や	件	3	6	3
	損 害 額	千円	8,129	90,571	82,442	
	焼 損 面 積	全 焼	棟	2	8	6
		半 焼	棟	1	1	0
		部 分 焼	棟	2	4	2
		ぼ や	棟	3	9	6
		合 計	棟	8	22	14
	罹 災 世 帯 数	世帯	6	12	6	
	罹 災 人 員	人	9	34	25	
	焼 損 床 面 積	m <sup>2</sup>	263	1,650	1,387	
焼 損 表 面 積	m <sup>2</sup>	2	133	131		
死 者 及 び 負 傷 者	人	死 者 負 傷 者 0 2	死 者 負 傷 者 1 4	死 者 負 傷 者 1 2		
林 野 火 災	件 数	件	3	2	1	
	損 害 額	千円	325	120	205	
	林 野 焼 損 面 積	a	17	8	9	
	死 者 及 び 負 傷 者	人	死 者 負 傷 者 0 1	死 者 負 傷 者 0 2	死 者 負 傷 者 0 1	
車 両 火 災	件 数	件	3	0	3	
	損 害 額	千円	977	0	977	
	死 者 及 び 負 傷 者	人	死 者 負 傷 者 0 0	死 者 負 傷 者 0 0	死 者 負 傷 者 0 0	
そ の 他	件 数	件	6	3	3	
	損 害 額	千円	2,367	14	2,353	
	死 者 及 び 負 傷 者	人	死 者 負 傷 者 0 2	死 者 負 傷 者 0 1	死 者 負 傷 者 0 1	
出 火 率			5.0	5.3	0.3	
全 国				4.3		

出火率・・・人口1万人に対する出火件数

## 市町別火災発生状況

内 訳 市町別	件数	焼 損 面 積 等			損 害 額 (千円)	死 傷 者 数 (人)
		建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林 野 (a)		
かつらぎ町	9	240	0	10	9,698	死 者 0 負傷者 3
橋本市 高野口町区域	5	0	0	0	1,040	死 者 0 負傷者 1
九度山町	6	23	2	7	1,060	死 者 0 負傷者 1
合 計	20	263	2	17	11,798	死 者 0 負傷者 5

## 火災覚知別表



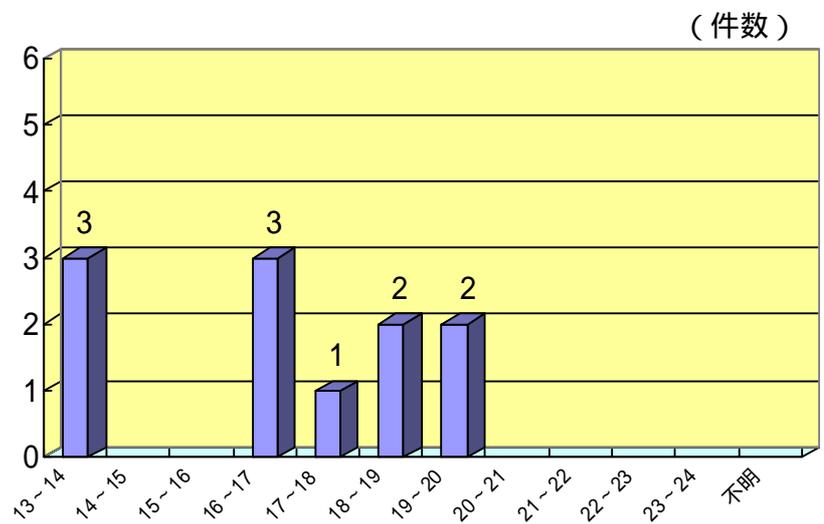
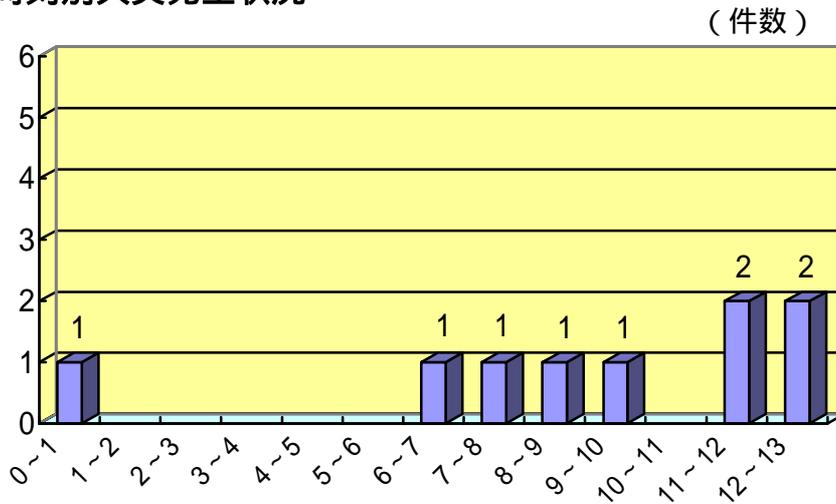
## 月別・原因別火災発生状況

月別 出火原因	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 (件)	損害額 (千円)
たばこ														
コンロ												1	1	783
かまど														
風呂かまど														
炉														
焼却炉														
ストーブ					1						1		2	6,581
こたつ														
ボイラー														
煙突・煙道	1												1	177
排気管														
電気機器														
電気装置			1					1					2	251
電灯・電話等の配線														
内燃機関														
配線器具														
火遊び														
マッチ・ライター														
焚き火			1	1					1	1			4	119
溶接機・溶断機									1				1	150
灯火														
衝突の火花		1											1	586
取灰														
火入れ														
放火														
放火の疑い								1					1	325
その他	1		1	1				1					4	213
不明			1		1	1							3	2,613
合計	2	1	4	2	2	1		3	2	1	1	1	20	11,798

## 月別・区分別火災発生状況

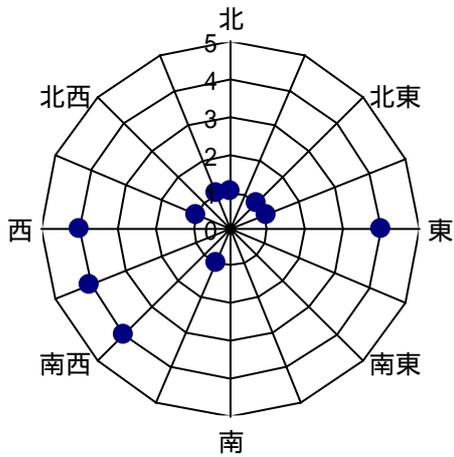
区 分		月 別												合計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
建物火災 (用途別)	居住専用建築物	1				1							1		3
	居住産業併用建築物												1		1
	産業用建築物	1		1							2				4
林 野 火 災				1						2					3
車 両 火 災			1					1		1					3
そ の 他				2	2	1						1			6
合 計		2	1	4	2	2	1			3	2	1	1	1	20

## 出火時刻別火災発生状況

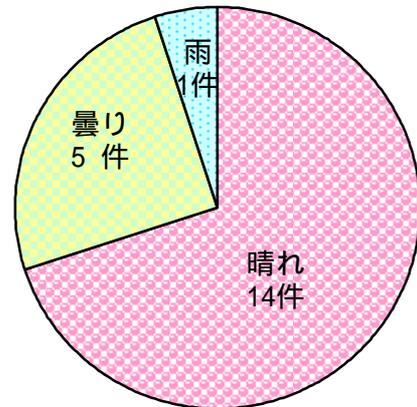


## 火災発生時の気象状況

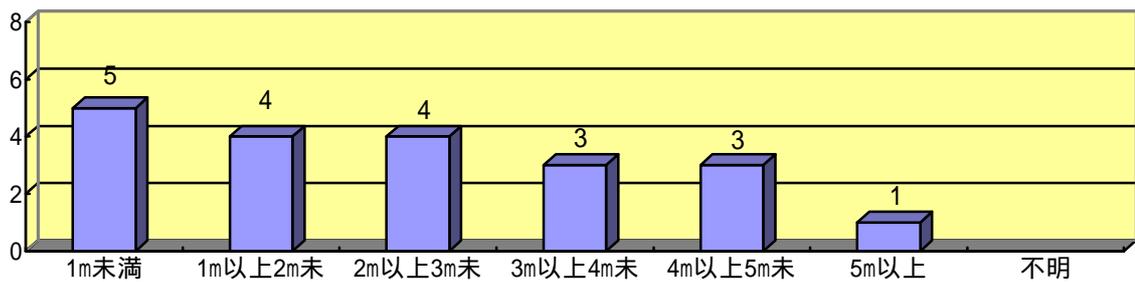
### 1. 風向



### 2. 天候



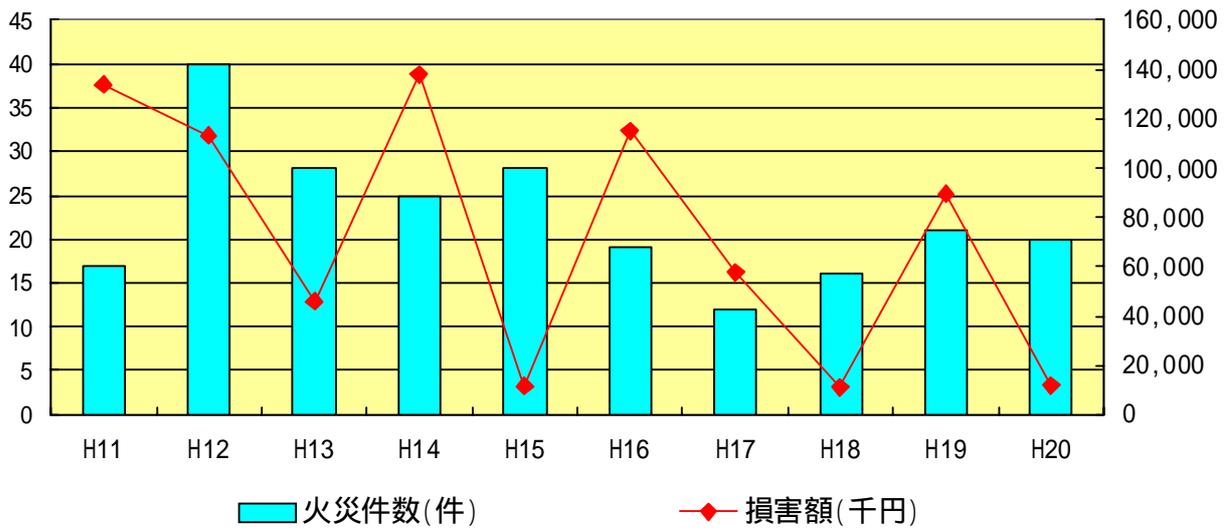
### 3. 風速



### 4. 湿度

湿度	火災種別				合計
	建物	林野	車両	その他	
35%未満		1		3	4
35%以上 55%未満	3	2	1	2	8
55%以上 75%未満	5		1	1	7
75%以上			1		1
不明					
合計	8	3	3	6	20

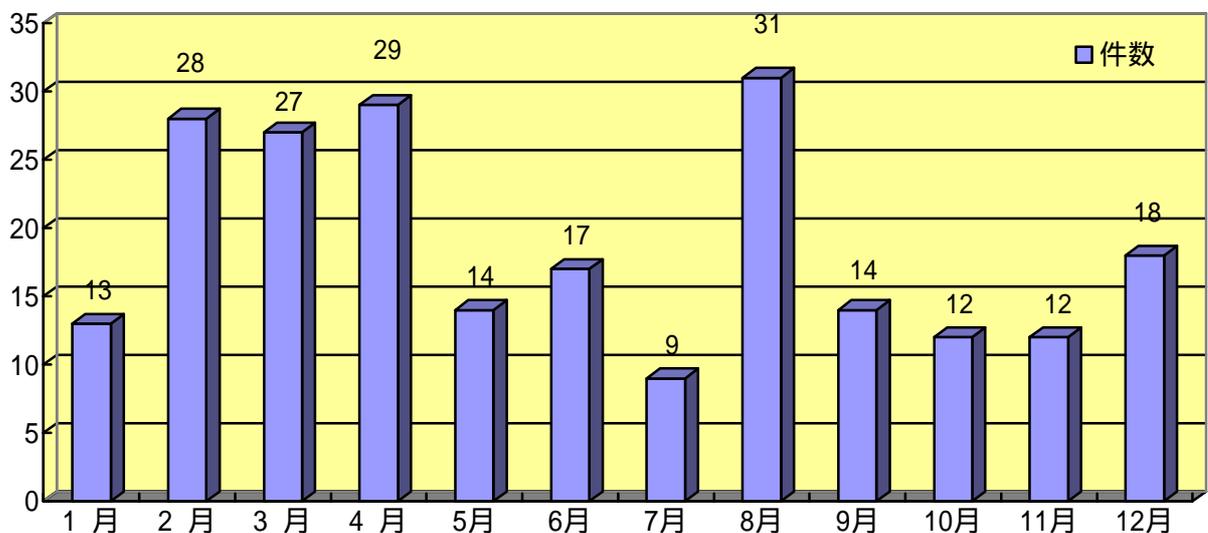
## 火災発生概況及び損害額（10年間）



年 別	H11	H12	H13	H14	H15
火災件数(件)	17	40	28	25	28
損害額(千円)	133,828	113,189	45,905	138,005	11,637

	H16	H17	H18	H19	H20
火災件数(件)	19	12	16	21	20
損害額(千円)	115,030	57,687	11,027	90,705	11,798

## 月別火災発生件数（10年間）



## 救 助 統 計

消防機関が行う救助とは、火災・交通事故・水難事故・自然災害その他の事故等に起因する、身体、生命に緊迫した危険から自ら脱出又は避難する事が困難な者を、資器材及び知識・技術・体力を駆使して危険を排除し安全な場所へ救出する活動である。

近年、生活の複雑多様化により各種災害が増加し生命の危険が増大しています。

しかし、我々消防職員はいかに困難な災害、どのような状況下にあろうとも、かけがえのない命を救うため最善の救助活動を行う必要があります。

平成20年中の救助出動件数は25件(昨年より19件減)救出人員は6人(昨年より14人減)となりました。出動件数別にみると交通事故20件、水難事故1件、その他の事故4件となっており、例年通り交通事故の割合が半数以上を占めています。

これからも我々は救助業務の充実、強化を図り、又、知識・技術・体力の向上を目指し住民の期待に添える様、なお一層の努力をしていく所存です。



## 救助活動状況

(平成20年1月～12月)

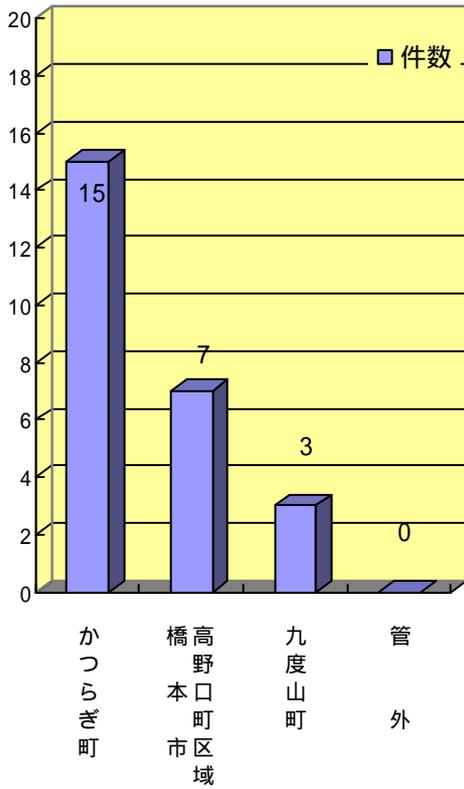
区 分 種 別	出 動			救出件数 (件)	救助人数 (人)
	出動件数 (件)	出動台数 (台)	出動人員 (人)		
火災事故					
交通事故	20	56	140	4	4
水難事故	1	2	4	0	0
自然災害事故					
機械による事故					
建物等による事故					
ガス及び酸欠事故					
爆発事故					
その他の事故	4	7	18	2	2
合 計	25	65	162	6	6

## 事故種別救助出動の推移

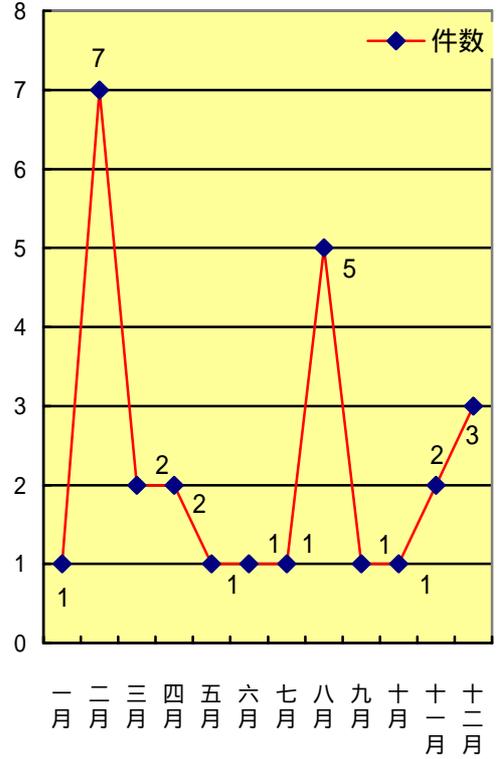
(平成16年～平成20年)

区 分 種 別	出 動 件 数 (件)				
	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
火災事故					
交通事故	36	34	22	35	20
水難事故	1		2	1	1
自然災害事故	1				
機械による事故	1	2	2	3	
建物等による事故					
ガス及び酸欠事故					
爆発事故					
その他の事故	6	2	6	5	4
合 計	45	38	32	44	25

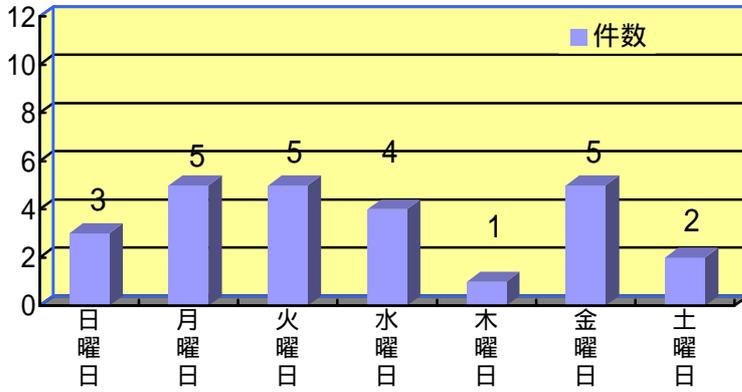
### 市町別出動件数



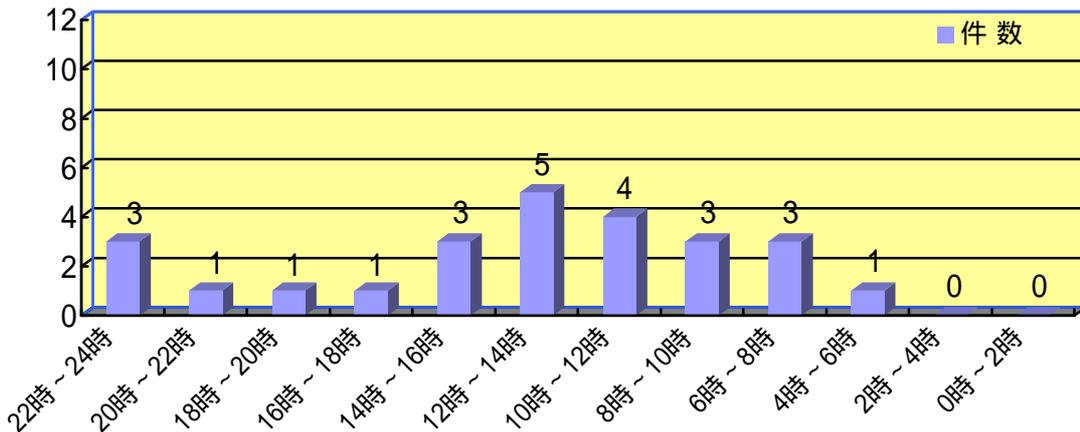
### 月別出動件数



### 曜日別出動件数



### 時間帯別出動件数



## 救 急 統 計

平成 20 年中の救急出場件数は広報等の影響もあり、1,613 件(4.4 件 / 日)で 123 件の減となり、病院紹介件数についても 1,912 件(5.2 件 / 日)で昨年比べ 492 件もの減となりました。

事故種別では急病が 972 件と約 6 割を占め、次いで一般負傷 238 件、交通事故 192 件の順となり、昨年と同様、一般負傷が交通事故を上回っています。急病と一般負傷の増加は高齢者社会を現し、搬送人員をみても 65 歳以上の傷病者が全体の半数以上を占めていました。

当消防本部の救急救命士は 8 名で、全員が気管挿管認定を受け、うち 4 名が薬剤投与の認定も受けています。平成 20 年中は心肺停止傷病者 41 症例のうち、6 症例に薬剤投与を実施し、気管挿管は 10 症例実施しました。

今後も生活形態が複雑になり、社会の高齢化が進行する中、その変化に対応する為、日々努力し精進していきます。



## 救急概況

(平成20年1月～12月)

区分 事故種別	出場件数	傷病者搬送件数	不搬送	医師搬送	資器材搬送	搬送人員		
						男	女	合計
合計	1,613	1,441	171		1	778	696	1,474
火災	13	3	10			3		3
自然災害								
水難								
交通	199	169	30			112	87	199
労働災害	15	14	1			12	2	14
運動競技	9	7	2			7	1	8
一般負傷	231	218	13			98	121	219
加害	4	3	1			1	2	3
自損行為	22	15	7			11	4	15
急病	972	881	91			469	412	881
その他	148	131	16		1	65	67	132
備考	病院紹介件数 1,912件							

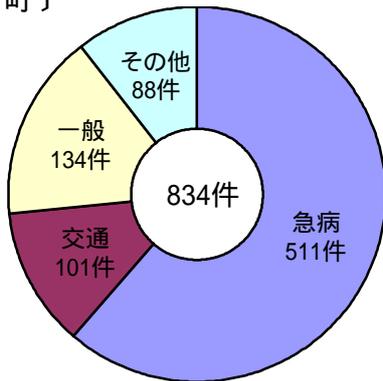
## 支援・救命・救命支援出動状況

(平成20年1月～12月)

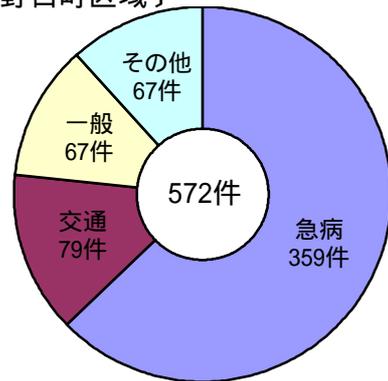
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出動	件数	22	15	13	18	18	8	10	13	12	9	9	12	159
	台数	24	14	12	17	17	8	10	13	12	10	8	12	157
	人員	69	46	36	50	53	20	31	36	37	26	20	37	461
活動件数		8	9	7	10	10	4	6	7	5	7	4	4	81

## 市町別救急出場件数（主な事故種別）

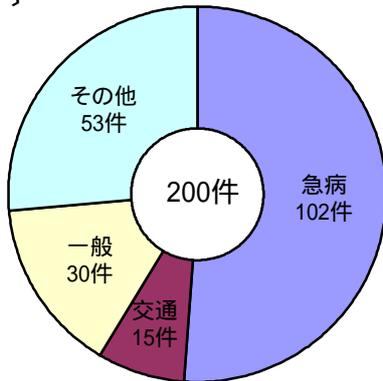
〔かつらぎ町〕



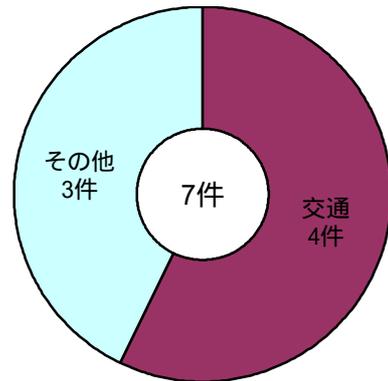
〔橋本市高野口町区域〕



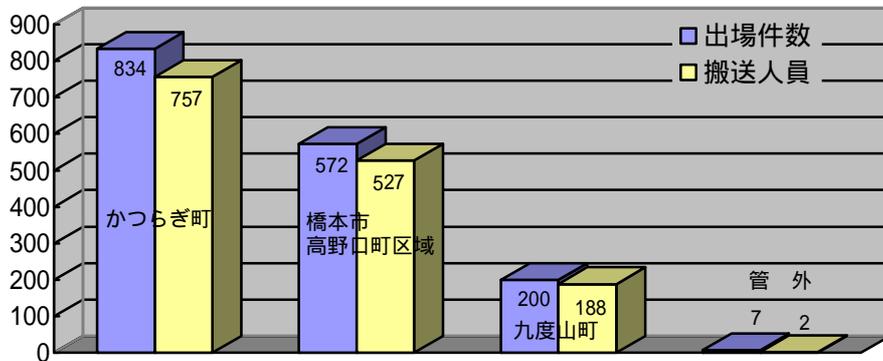
〔九度山町〕



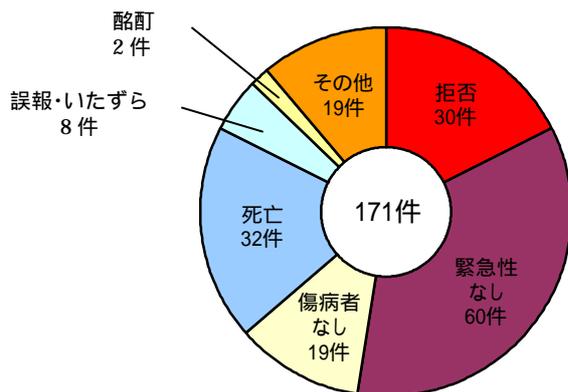
〔管外〕



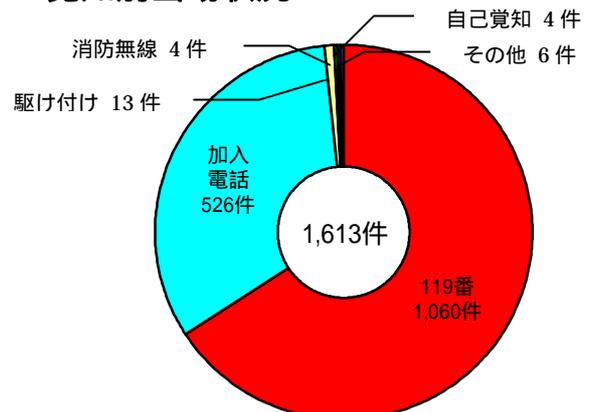
## 市町別救急出場件数及び搬送人員



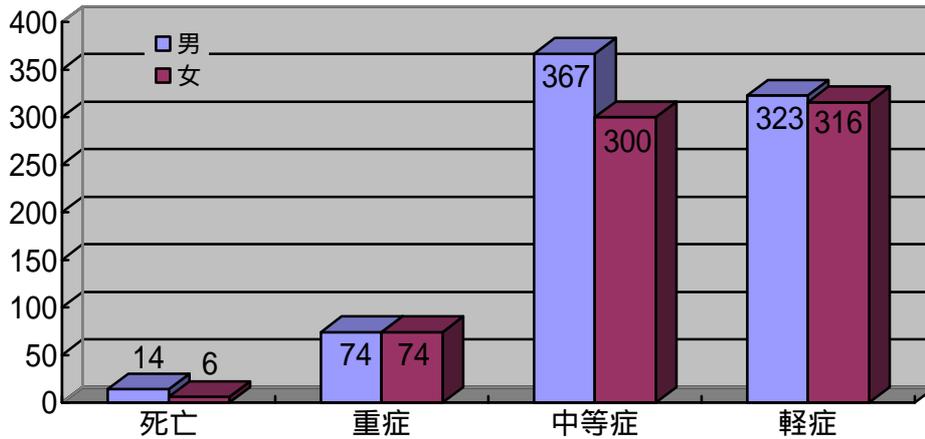
## 不搬送の内容



## 覚知別出場状況



### 程度別搬送人員



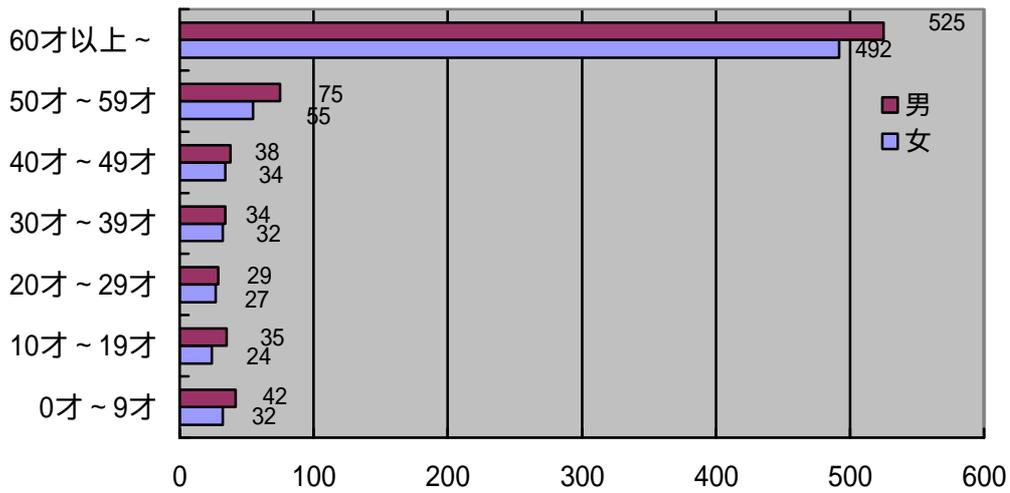
### 程度別転送回数状況

程度 \ 回数	0回	転送回数			合計 B	転送率 A/B
		1回	2回	小計A		
死亡	20				20	0%
重症	141	7		7	148	4.7%
中等症	651	15	1	16	667	2.4%
軽症	630	9		9	639	1.4%
その他						
合計	1,442	31	1	32	1,474	2.2%

### 転送理由状況

理由 \ 事故種別	急病	交通	一般負傷	その他	合計
ベッド満床					
専門外	3	1	1		5
医師不在					
手術中					
処置困難	19	3	5		27
理由不明					
その他	1				1
合計	23	4	6		33

## 性別・年齢別搬送人員



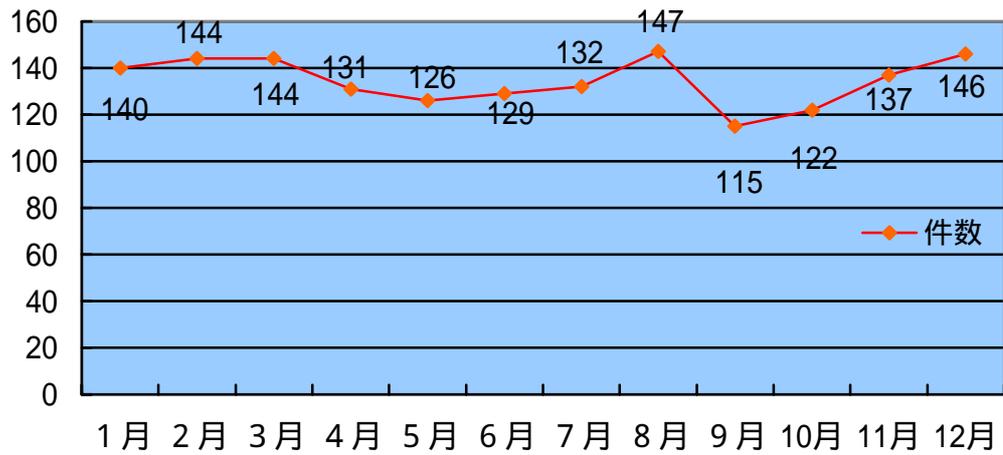
## 現場到着所要時間

事故種別	所要時間区分					合計
	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	
急病	47	170	560	151	44	972
交通	15	45	109	23	7	199
一般負傷	11	41	125	40	14	231
その他	26	19	126	31	9	211
合計	99	275	920	245	74	1,613

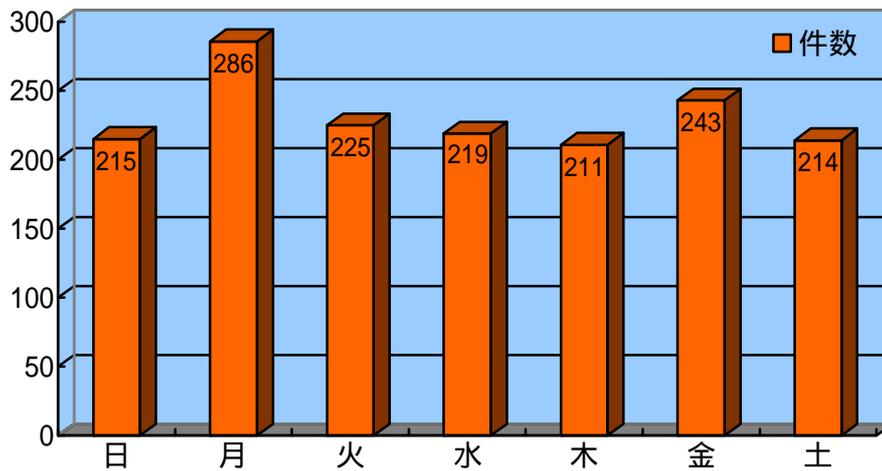
## 収容所要時間

事故種別	救急覚知から医療機関等への収容に要した時間別搬送人員						合計
	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	
急病	4	93	279	403	95	7	881
交通		28	54	92	24	1	199
一般負傷		24	63	104	25	3	219
その他		16	68	79	12		175
合計	4	161	464	678	156	11	1,474

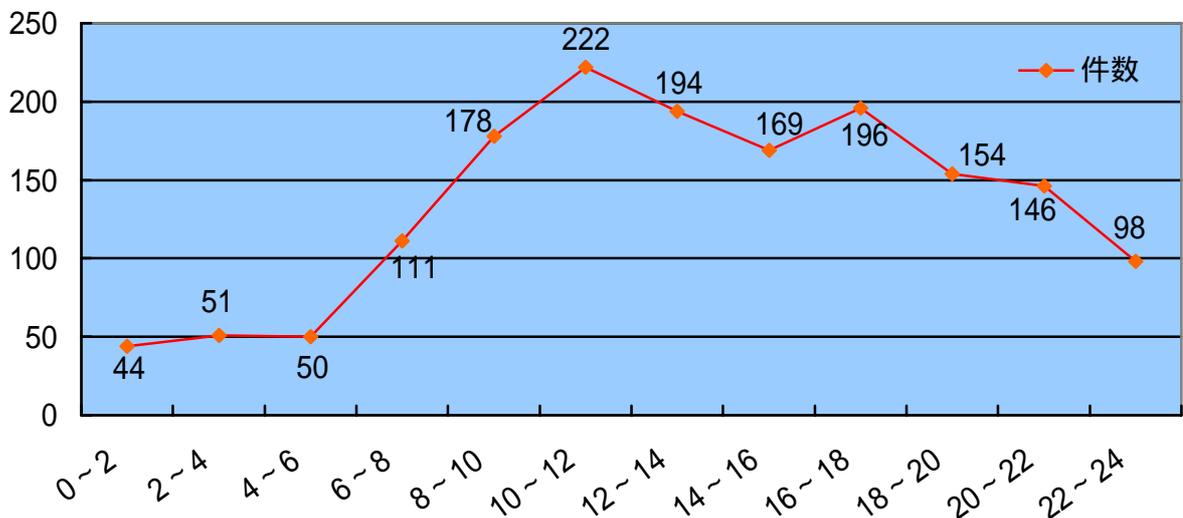
### 月別出場件数



### 曜日別出場件数



### 時間帯別出場件数



## 休日における救急活動状況

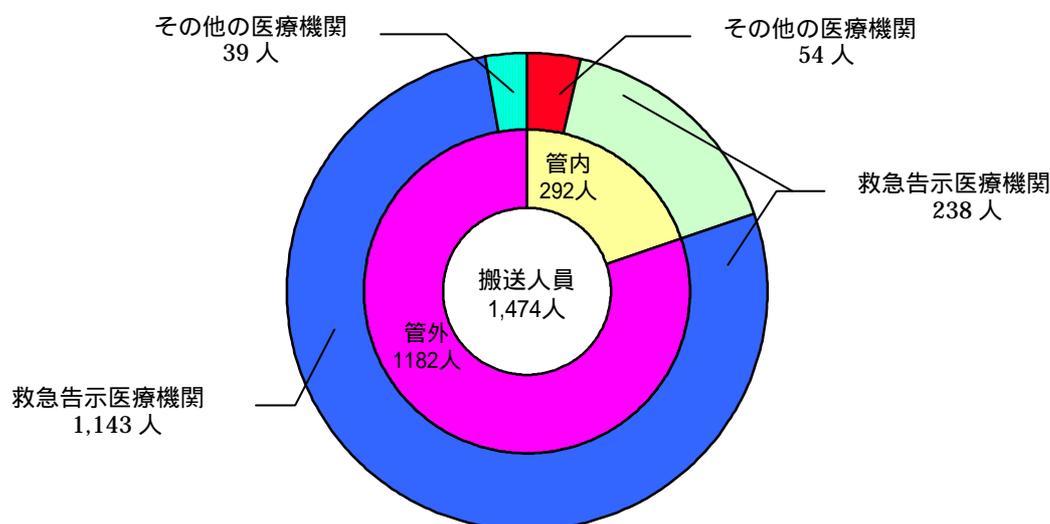
事故種別	出場件数	休日における 出場件数	事故種別	出場件数	休日における 出場件数
火災	13	4	自損行為	22	8
自然災害			急病	972	211
水難			その他	転院搬送	131
交通	199	35		医師搬送	
労働災害	15			資器材搬送	1
運動競技	9	2		その他	16
一般負傷	231	46	合計	1,613	320
加害	4				

## 診療科目別搬送人員

(平成20年1月～12月)

科 目	内 科	小 児 科	外 科	脳 外 科	整 形 外 科	泌 尿 器 科	産 婦 人 科	耳 鼻 咽 喉 科	循 環 器 科	消 化 器 科	呼 吸 器 科	精 神 科	そ の 他	合 計
人数	563	49	151	254	244	13	11	14	101	14	18	10	32	1,474

## 医療機関別搬送状況



### 救急隊員の行った応急処置等件数調

事故種別	応急処置 搬送人員	止血	固定	人工呼吸	心マッサージ		心肺蘇生法	酸素吸入	気道確保			保温	被覆		
					うち 自動				うち 自動	1	2			3	
急病	878	6	2	8			27		329	42	8	1	22	27	3
交通事故	196	11	89				1		20	2	1	1	1	7	51
一般負傷	219	13	33	1			4		25	5		1	3	9	50
その他	175	2	15				7		81	7	2		4	13	14
合計	1,468	32	139	9			39		455	56	11	3	30	56	118

	在宅療法継続			シヨック パンツ	除細動	輸液	その他	血圧測定	心音・呼 吸音聴取	血中飽和度 酸素	心電図		処置合計
	A	B	C								うち 伝送		
	38		38		3	15	817	815	363	852	572		3919
						1	52	189	123	193	26		765
	3		3		1	3	149	197	52	213	51		809
	1		1			4	128	152	47	169	88		728
	42		42		4	23	1,146	1,353	585	1,427	737		6,221

1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数の内数。

2には、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数の内数。

3には、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数の内数。〔気管挿管を含む〕

Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数の内数。

Bには、気管切開孔又は気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数の内数。

Cには、\* A・\* B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数の内数。

## 出場走行距離

(平成20年1月～12月)

出場件数	延走行距離 (出場～帰署)	1件当たりの 平均走行距離
1,613件	40,636km	25.2km

## ㊴ 事故種別救急出場の推移

(平成11年～平成20年)

年 別 事故種別	出 場 件 数									
	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
合 計	1,379	1,356	1,462	1,485	1,600	1,685	1,692	1,677	1,736	1,613
火 災	12	22	18	13	18	15	8	12	16	13
自 然 災 害	1		1			1	1			
水 難	1			3		2		2	1	
交 通	256	227	236	262	254	232	221	194	223	199
労 働 災 害	22	17	14	19	18	16	21	19	18	15
運 動 競 技	4	7	2	5	6	14	12	2	5	9
一 般 負 傷	176	178	223	199	217	242	237	230	243	231
加 害	8	10	7	13	12	9	6	9	5	4
自 損 行 為	12	21	19	21	18	21	11	23	25	22
急 病	724	707	772	787	848	928	967	1,010	1,014	972
そ の 他	163	167	170	163	209	205	208	176	186	148

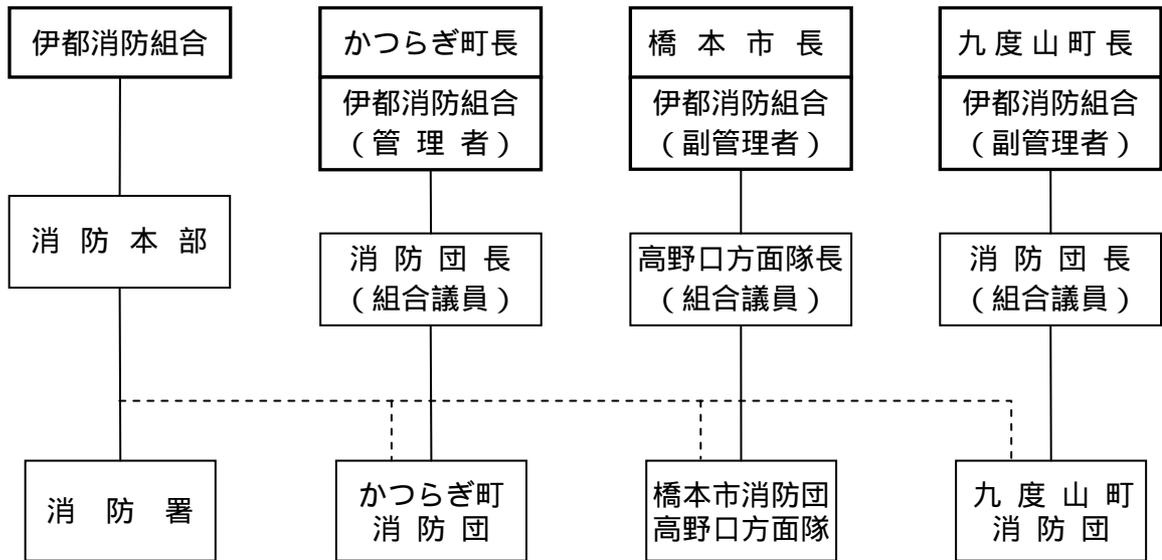
㉒ 救急用器具保有状況

器 具 名	数 量	器 具 名	数 量
手動式人工呼吸器（小児用）	2	AED	2
手動式人工呼吸器（成人用）	12	AED トレーナー	8
手動式人工呼吸器（新生児用）	2	ショックパンツ	3
自動式人工呼吸器	2	KED	2
流量計付加湿酸素吸入装置	2	スクープストレッチャー	5
酸素ボンベ（10ℓ）	7	ニッ折担架	20
酸素ボンベ（2ℓ）	19	布担架	5
電池式吸引器	3	高度救命処置シミュレーター	2
自動式心肺蘇生器（HLR）	2	レサシアン	6
患者監視装置	2	レサシジュニア	7
携帯用12誘導心電計	1	レサシベビー	4
心電図伝送装置	2	アンブマン蘇生訓練人形	1
カプノチェック	2	アクター911（大・小）	1
自動体外式除細動器	2	気管管理トレーナー	1
輸液ポンプ	2	CPRボード	2
車載電話	4	E O G ガス滅菌器	1
車載FAX	2	高圧蒸気滅菌器	1
聴診器	10	オゾン殺菌装置	1
アネロイド式ウォール型血圧計	3	電動式噴霧消毒器	1
アネロイド式ポケット型血圧計	3	手動式噴霧消毒器	2
マギール鉗子（大）	4	災害用救急バック	5
マギール鉗子（小）	3	消防隊用救急バック	3
喉頭鏡	4	携帯用パルスオキシメーター	4
全身ギブス	3	ショートボード	3
バックボード	6		
ネックカラー（成人・小児用）	15		

# 消防団の概要



## 消防団状況（消防団事務はそれぞれの市町で取り扱う）



## 消防団の沿革

### かつらぎ町

- ・ 明治26年 大字妙寺に消防組発足、以降各村に消防組発足
- ・ 明治42年 妙寺村消防組を妙寺町消防組に改組し、発足。大正9年笠田村消防組を笠田町消防組に改組し、発足（町制実施に伴い、妙寺村が妙寺町に及び笠田村が笠田町になる）
- ・ 昭和14年 消防組を警防団に改称
- ・ 昭和22年 勅令（第185号）により、警防団を消防団に改称
- ・ 昭和30年 旧見好村消防団及び天野村消防団が合併し、新見好村消防団発足。  
笠田町消防団、四郷村消防団及び大谷村消防団が合併し、伊都町消防団発足。  
（旧見好村及び天野村が合併し、新見好村になる。笠田町、四郷村及び大谷村が合併し、伊都町になる）
- ・ 昭和33年 妙寺町消防団、伊都町消防団及び新見好村消防団合併に伴い、かつらぎ町消防団を創設する。（妙寺町、伊都町及び新見好村が合併し、かつらぎ町になる）
- ・ 平成18年 かつらぎ町が旧花園村を編入合併（平成17年10月）し、かつらぎ町消防団と旧花園村消防団が合併し、新かつらぎ町消防団を創設し、現在に至る。

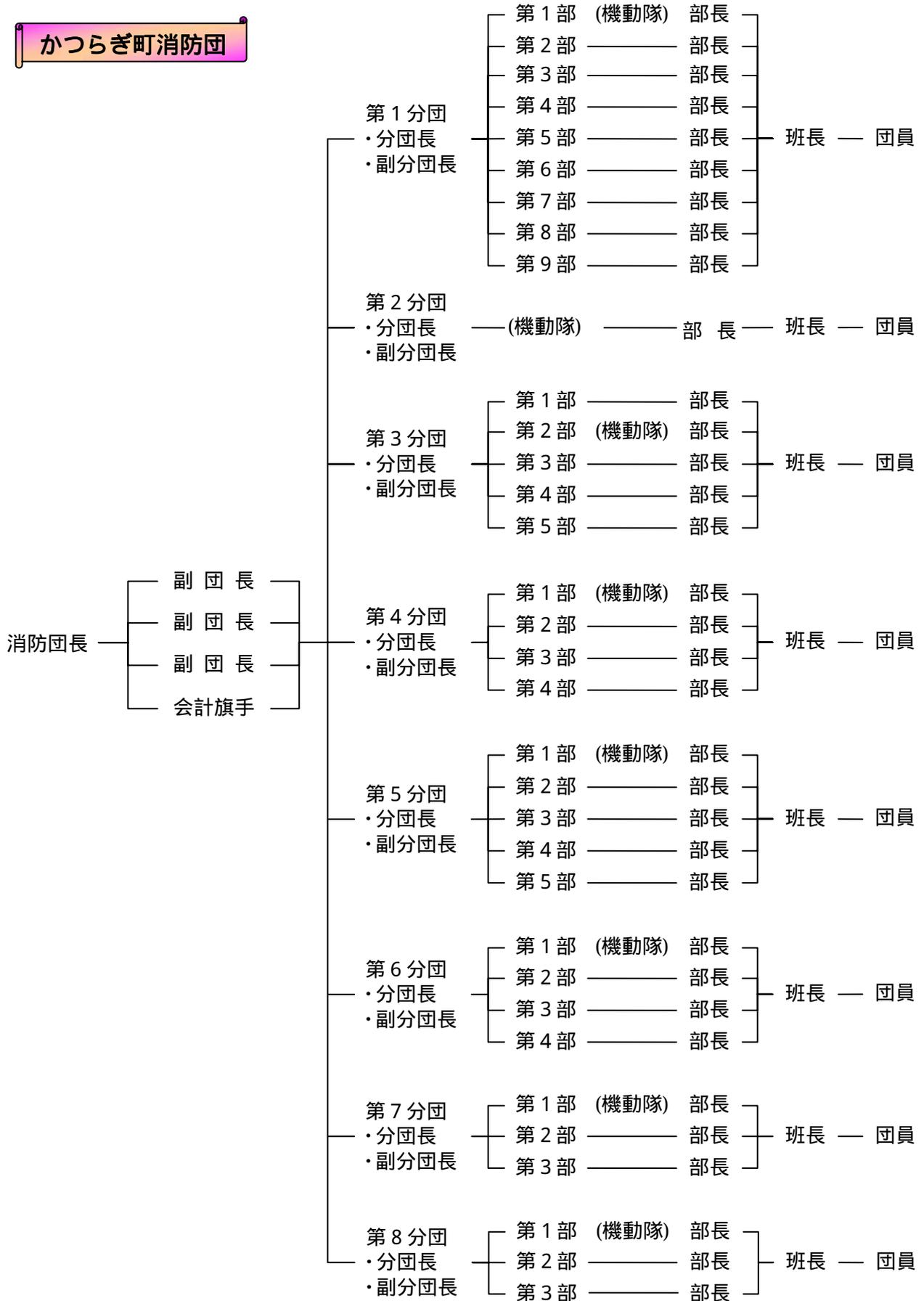
### 高野口町

- ・ 明治29年 信太村に消防組発足、以降明治31年大野村、名倉村、応其村に消防組発足
- ・ 明治34年 名倉村、大野村合併に伴い、公設名倉村消防組発足
- ・ 明治41年 公設名倉村消防組を公設旧高野口町消防組に改組し、発足（町制実施に伴い、名倉村及び大野村が合併し、旧高野口町になる）
- ・ 昭和14年 消防組を警防団に改称
- ・ 昭和22年 勅令（第185号）により、警防団を消防団に改称
- ・ 昭和30年 旧高野口町消防団、信太村消防団及び応其消防団合併に伴い、新高野口町消防団を創設し、現在に至る。（旧高野口町、信太村及び応其村合併に伴い、新高野口町になる）
- ・ 平成18年 橋本市と旧高野口町が市町村合併（平成18年3月）し、新橋本市消防団を創設（旧高野口町区域のみが伊都消防組合の管轄区域となる。）し、現在に至る。

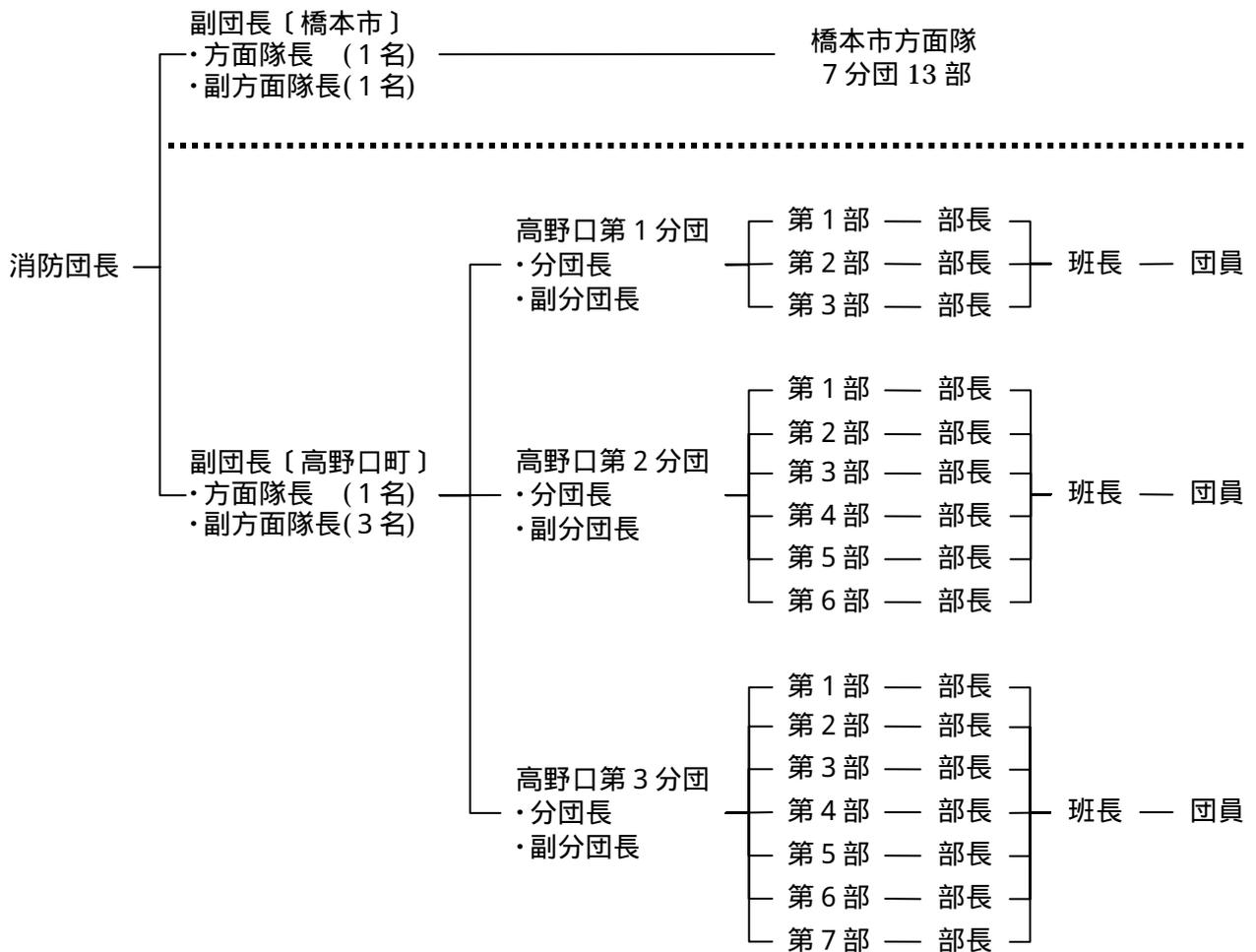
### 九度山町

- ・ 明治39年 九度山村消防組発足
- ・ 明治43年 九度山村消防組を九度山町消防組に改組し、発足（町制実施に伴い、九度山村が旧九度山町になる）
- ・ 昭和14年 消防組を警防団に改称
- ・ 昭和22年 勅令（第185号）により、旧九度山町警防団を旧九度山町消防団に改称
- ・ 昭和30年 旧九度山町消防団及び河根村消防団合併に伴い、新九度山町消防団を創設し、現在に至る。（旧九度山町及び河根村合併に伴い、新九度山町になる）

# 消防団の組織及び機構



## 橋本市消防団 高野口方面隊



## 九度山町消防団



消防団員の年齢別・階級別状況〔三市町合計〕

(平成20年12月31日現在)

区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計	区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計
18歳										40歳	29					1	6	22	1,160
19歳										41歳	30					2	7	21	1,230
20歳	1							1	20	42歳	23					1	3	19	966
21歳										43歳	29					1	4	24	1,247
22歳	1							1	22	44歳	36					4	4	28	1,584
23歳	1							1	23	45歳	36					2	6	28	1,620
24歳	1							1	24	46歳	41					4	12	25	1,886
25歳	4							4	100	47歳	23			2	3	4	14	1,081	
26歳	4							4	104	48歳	41			1	5	8	27	1,968	
27歳	2							2	54	49歳	44			1	3	4	12	24	2,156
28歳	5							5	140	50歳	36		1	1	1	6	5	22	1,800
29歳	8							8	232	51歳	34			1	1	7	6	19	1,734
30歳	8							8	240	52歳	28					4	8	16	1,456
31歳	16							16	496	53歳	27				1	3	7	16	1,431
32歳	22							22	704	54歳	41		1		5	7	10	18	2,214
33歳	19					1		18	627	55歳	29		2	1	1	4	6	15	1,595
34歳	17							17	578	56歳	34			1	3	4	3	23	1,904
35歳	27						1	26	945	57歳	38			3	2	5	5	23	2,166
36歳	32						6	26	1,152	58歳	19		2	2		2	4	9	1,102
37歳	28						2	26	1,036	59歳	23	1				10	9	3	1,357
38歳	26						4	22	988	60歳以上	71	1	5	6	2	9	4	44	4,528
39歳	20				1	1	4	14	780	合計	954	2	11	16	23	90	150	662	44,450

消防団員の年齢別・階級別状況〔かつらぎ町〕

(平成20年12月31日現在)

区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計	区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計
18歳										40歳	13					1	5	7	520
19歳										41歳	14					2	6	6	574
20歳	1							1	20	42歳	14					1	3	10	588
21歳										43歳	9					1	2	6	387
22歳	1							1	22	44歳	18					3	3	12	792
23歳	1							1	23	45歳	17					1	4	12	765
24歳	1							1	24	46歳	27					3	12	12	1,242
25歳	3							3	75	47歳	11				1	3	4	3	517
26歳	3							3	78	48歳	19					3	8	8	912
27歳	1							1	27	49歳	22			1	3	4	9	5	1,078
28歳	3							3	84	50歳	15		1	1	1	3	3	6	750
29歳	6							6	174	51歳	17				1	7	4	5	867
30歳	7							7	210	52歳	11					2	6	3	572
31歳	8							8	248	53歳	11					1	6	4	583
32歳	12							12	384	54歳	26		1		5	7	7	6	1,404
33歳	10							10	330	55歳	12			1	1	4	3	3	660
34歳	10							10	340	56歳	8			1	1	2		4	448
35歳	14						1	13	490	57歳	15			2	2	4	3	4	855
36歳	18						5	13	648	58歳	4					1	2	1	232
37歳	13						2	11	481	59歳	11	1				4	6		649
38歳	9						3	6	342	60歳以上	14		2	3	1	3		5	848
39歳	10					1	4	5	390	合計	439	1	4	9	16	61	111	237	19,633

消防団員の年齢別・階級別状況〔橋本市高野口町区域〕

(平成20年12月31日現在)

区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計	区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計
18歳										40歳	8							8	320
19歳										41歳	9							9	369
20歳										42歳	5							5	210
21歳										43歳	12						1	11	516
22歳										44歳	12						1	11	528
23歳										45歳	5						2	3	225
24歳										46歳	6					1		5	276
25歳										47歳	6							6	282
26歳										48歳	13				1	1		11	624
27歳	1							1	27	49歳	12						2	10	588
28歳										50歳	11					1	2	8	550
29歳										51歳	13						2	11	663
30歳										52歳	9						2	7	468
31歳	2							2	62	53歳	8						1	7	424
32歳	5							5	160	54歳	9						3	6	486
33歳	4							4	132	55歳	7						1	6	385
34歳	2							2	68	56歳	13				1	2	1	9	728
35歳	4							4	140	57歳	13					1	2	10	741
36歳	9							9	324	58歳	11		2	1		1	2	5	638
37歳	5							5	185	59歳	9					5	3	1	531
38歳	10							10	380	60歳以上	27		2	2	1	4	1	17	1,665
39歳	5							5	195	合計	265		4	3	3	16	26	213	12,890

消防団員の年齢別・階級別状況〔九度山町〕

(平成20年12月31日現在)

区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計	区分 年齢	団員数計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	年齢計
18歳										40歳	8						1	7	320
19歳										41歳	7						1	6	287
20歳										42歳	4							4	168
21歳										43歳	8						1	7	344
22歳										44歳	6					1		5	264
23歳										45歳	14					1		13	630
24歳										46歳	8							8	368
25歳	1							1	25	47歳	6				1			5	282
26歳	1							1	26	48歳	9					1		8	432
27歳										49歳	10						1	9	490
28歳	2							2	56	50歳	10					2		8	500
29歳	2							2	58	51歳	4			1				3	204
30歳	1							1	30	52歳	8					2		6	416
31歳	6							6	186	53歳	8				1	2		5	424
32歳	5							5	160	54歳	6							6	324
33歳	5					1		4	165	55歳	10		2				2	6	550
34歳	5							5	170	56歳	13				1		2	10	728
35歳	9							9	315	57歳	10			1				9	570
36歳	5						1	4	180	58歳	4			1				3	232
37歳	10							10	370	59歳	3					1		2	177
38歳	7						1	6	266	60歳以上	30	1	1	1		2	3	22	2,015
39歳	5				1			4	195	合計	250	1	3	4	4	13	13	212	11,927

## 消防団員数及び装備状況

(平成20年12月31日現在)

区 分		市 町 名			
		かつらぎ町	橋本市 高野口町区域	九度山町	合 計
人 員	条例定数	439人	—	250人	—
	消防団員数	439人	265人	250人	954人
車 両 種 別	指令車	1台	1台	1台	3台
	ポンプ自動車	8台	8台	2台	18台
	水槽付ポンプ自動車		1台		1台
	小型ポンプ	32台	8台	13台	53台
	積載車	30台	8台	12台	50台
	その他の車両		2台	1台	3台
合 計		71台	28台	29台	128台